令和５年度版

消 防 年 報

霧島市消防局

はじめに

この年報は，霧島市消防局の現況と令和５年度中における消防業務に関する諸般の事項を集録し，今後の参考にするとともに，消防事情を広く一般に紹介し，理解と協力を深めていただくことを目的として編集したものです。

なお，年報中，火災救急救助等の統計は原則として暦年で表してあります。

令和 ６ 年 ８ 月

霧 島 市 消 防 局

目　　次

１．総　括

１．霧島市の概況 1
２．霧島市消防局のあゆみ 2
⑴　消防局の発足経過 2
⑵　消防局の沿革 2
３．署所の配置 13
４．消防局の組織 14
５．消防職員の配置状況 14
６．消防力の現勢 15
７．消防団の組織 15
８．消防局財政 16
⑴　市予算と消防予算 16
⑵　消防費の内訳 16
⑶　消防費と人口比率 16
９．消防相互応援協定締結状況 17

２．総　務

１．消防職員の階級別年齢構成 1
２．年度別職員研修派遣状況 2
３．職員の特殊資格取得状況 3
４．令和５年度における主な行事 4

３．警　防

１．消防水利の状況 1
２．過去５年間 119 番総受信件数（令和元年～令和５年） 2
３．地区別 119 番受信状況 3
４．災害種別 119 番受信状況 4

４．予　防

１．防火対象物数 1
２．立入検査実施件数 2
３．消防法第８条防火対象物数 3
４．中高層防火対象物調べ（棟数） 4
５．危険物施設許可状況 5
６．数量別危険物施設状況 5

５．火　災

１．火災の概況 1
２．月別・曜日別火災発生状況 2
３．出火時間別火災発生状況 3
４．原因別火災発生状況 4
５．地区別火災発生状況 5
６．地区別・月別火災発生状況 5
７．過去 10 年間の火災件数の推移（平成 26 年～令和５年） 6

６．救急・救助

１．救急概要 1
２．月別救急出動状況 2
３．過去５年間の救急出動状況（令和元年～令和５年） 2
４．過去５年間における救急出動比較（令和元年～令和５年） 3
５．曜日別救急出動状況 4
６．時間別救急出動状況 4
７．傷病程度別・年齢区分別救急搬送人員 5
８．管内・管外収容状況 5
９．署所別救急搬送状況 6
10．月別救急出動比較 7
11．事故種別発生比較 7
12．月別応急手当の普及啓発活動状況 8
13．事故種別救助出動及び活動の状況 8
14．救助出動における事故種別及び発生場所別救助人員 9
15．事故種別救助出動及び活動の状況（過去５年） 10

７．消防団

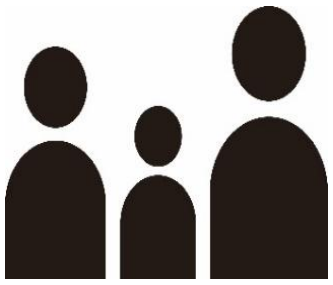
１．消防団現勢 1
２．消防団員の階級別配置状況 1
３．消防団幹部一覧表 2
４．消防団員の在籍年数 3
５．消防団出動状況 3
６．消防団員の報酬（年額） 4
７．消防団員の諸手当支給状況 4
８．本部・各方面隊別階級及び配置状況 5
団本部、国分方面隊、隼人方面隊 5
霧島方面隊、牧園方面隊、福山方面隊 6
溝辺方面隊、横川方面隊 7

一目統計（霧島市消防局管内）

面積

総面積　603.17㎢

人口・世帯数



人口　123,179人

世帯数　62,581世帯

予算

消防予算　18億5483万円

署所数

本　部　1本部

消防署　２署

分遣所　５分遣所

消防職員数

実員数（事務職員含む）　187人

定員数　189人

救急救命士数

救急救命士数　61人

消防団員数

実員数　1,109人

定員数　1,236人

車両台数（ポンプ車等）

ポンプ車　４台

水槽付消防ポンプ車　５台

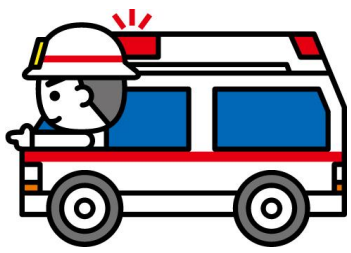
車両台数（特殊車両等）

はしご車　２台

救助工作車　２台

搬送車　２台

車両台数（救急車）



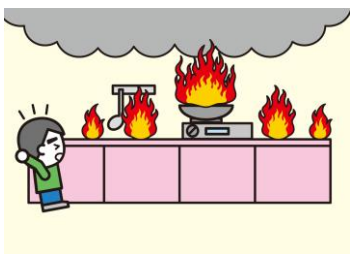
救急車　８台

非常用　１台

119番通報件数

通報件数　12,614件

火災件数



火災件数　44件

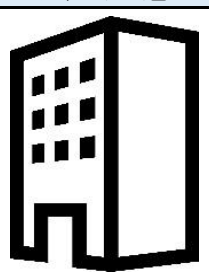
（主な出火原因）
１位たき火　２位電気機器・コンロ
３位排気管・配線器具

出動件数（救急、救助）

救急出動件数　7,828件

救助出動件数　47件

消防同意



同意件数　90件

危険物施設数

製造所　０件

貯蔵所　216件

取扱所　142件

1．総　括

１．霧島市の概況

本市は、鹿児島県本土のほぼ中央部に位置し、北部は国立公園である風光明媚な霧島山を有し、南部は豊かで広大な平野部が波静かな錦江湾に接し、湾に浮かぶ雄大な桜島を望むところにあります。また、霧島山系から裾野、平野部を経て錦江湾まで流れる清く豊かな天降川、その流域に広がる豊かな田園、そして山麓から平野部まで温泉群等を有しており、海、山、川、田園、温泉など多彩で豊かな地域です。総面積約 603 平方km、人口約 12 万 3 千人の「世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市」として位置づけられています。

＜位　置＞

＜本支所別世帯数人口＞　　令和 6．3．31 現在

地 区	世　帯　数	人　口（人）	男（人）	女（人）
本庁（国分庁舎）	29,499	59,633	29,227	30,406
溝 辺総合支所	3,724	7,603	3,603	4,000
横 川総合支所	1,864	3,294	1,562	1,732
牧 園総合支所	3,378	5,678	2,677	3,001
霧 島総合支所	2,377	4,209	1,936	2,273
本庁（隼人庁舎）	19,386	38,619	18,626	19,993
福 山総合支所	2,353	4,143	2,039	2,104
合 計	62,581	123,179	59,670	63,509

※法改正により平成 24 年 8 月分から市内居住外国人も人口に含まれています。

２．霧島市消防局のあゆみ

（１）　消防局の発足経過

設立年月日	名　　称	構成市町	本部署所の設置場所	開設年月日
昭和 32 年 6 月 1 日	国分市消防本部	国分市	国分市向花 1551	昭和 32 年 6 月 1 日
昭和 44 年 4 月 1 日	国分市・隼人町消防組合	国分市 隼人町	隼人分遣所 隼人町内 1333 番地 5	昭和 44 年 5 月 1 日
昭和 45 年 5 月 29 日	国分市・隼人町消防組合	国分市 隼人町	消防本部（署）新庁舎 落成移転 国分市向花 862	昭和 45 年 6 月 17 日
昭和 46 年 4 月 1 日	国分市外 2 町消防組合	国分市 隼人町 霧島町	霧島分遣所 霧島町田口 495 番地	昭和 47 年 4 月 16 日
昭和 47 年 10 月 1 日	国分市外 3 町消防組合	国分市 隼人町 霧島町 牧園町	牧園分遣所 牧園町高千穂小谷 3282 番地 16	昭和 48 年 4 月 10 日
昭和 48 年 4 月 1 日	国分市外 4 町消防組合	国分市 隼人町 霧島町 牧園町 福山町	福山分遣所 福山町福山 5342 番地 4	昭和 49 年 9 月 3 日
昭和 48 年 9 月 1 日	牧園分遣所を北消防署に組織変更する。			
昭和 49 年 4 月 1 日	国分地区消防組合に名称変更する。			
昭和 62 年 12 月 1 日	住居表示の改正に伴い，国分市向花 862 を国分市中央五丁目 3 番 10 号に変更			
平成 11 年 4 月 20 日	新庁舎落成に伴い，国分市向花 1291 番地 1 に移転する。			
平成 17 年 11 月 7 日	市町合併に伴い国分地区消防組合を解散し，霧島市消防局に名称変更する。 国分市向花 1291 番地 1 を霧島市国分中央三丁目 41 番 5 号に変更			

（２）消防局の沿革

昭和 32 年６月１日　　国分市消防本部（署）を設置、署員消防長以下 16 名（内消防長、助役兼務）、庁舎は消防団本部庁舎を仮庁舎とし、消防ポンプ自動車（いすず 1957 年型Ａ１級）１台を配置する。

昭和 34 年９月１日　　専任消防長に肥後直之氏が就任する。

昭和 36 年４月１日　　消防長に今村清氏が就任する。

昭和 40 年１月１日　　専任消防署長を置く。

昭和 40 年４月１日　消防吏員５名を採用、合計 21 名となる。
昭和 40 年 10 月 28 日　水槽付消防ポンプ自動車（いすず 1965 年型Ａ級３ｔ積）を購入配置する。
昭和 40 年 12 月 21 日　消防無線（ＳＳＢ、３Ｗ）を購入、基地局を署に、移動局を消防自動車に配置する。
昭和 42 年７月５日　消防長・今村清氏退任。
昭和 42 年７月５日　消防長に加治木幸雄氏が就任する。
昭和 42 年 12 月 14 日　救急車（日産セドリック 1967 年型Ｂ級）を購入、消防署に配置、12 月 26 日に消+防無線（ＳＳＢ、３Ｗ）移動局を搭載する。
昭和 43 年１月７日　救急業務を開始する。
昭和 43 年７月 19 日　日本損害保険協会より消防車贈呈を受け、火災保険号「国分」と命名する。既存の消防ポンプ自動車を消防団敷根部へ配置替する。
昭和 44 年４月１日　国分市・隼人町により、消防一部事務組合を設立、国分市・隼人町消防組合となる。
昭和 44 年４月１日　初代組合管理者に国分市長・林昌治氏が就任。
昭和 44 年５月１日　組合消防長に中村清氏就任。同時に消防吏員 14 名、その他の職員２名を増員し、37 名となる。また、隼人分遣所（隼人町役場内仮庁舎）を開設し、署員 12 名、消防ポンプ自動車１台を配置する。
昭和 44 年 11 月 14 日　隼人分遣所に水槽付消防ポンプ自動車（いすず 1969 年型Ａ２級 1.5ｔ積）を購入し配置する。既存消防ポンプ自動車は隼人町消防団嘉例川部に配置する。
昭和 45 年４月 15 日　隼人分遣所庁舎落成。４月 27 日移転する。
昭和 45 年５月 29 日　消防本部（署）新庁舎落成。６月 17 日移転する。
昭和 45 年 12 月７日　消防吏員５名を増員し、合計 42 名となる。
昭和 45 年 12 月 23 日　救急車（日産エコー1970 年型）を購入し消防本部（署）に配置する。既存救急車を隼人分遣所に配置し救急業務を開始する。
昭和 46 年２月１日　鹿児島地方気象台の委託により、農業気象観測を開始する。
昭和 46 年３月２日　消防吏員２名を採用し、合計 44 名となる。
昭和 46 年４月１日　組合に霧島町が加入。国分市外２町消防組合となる。
昭和 46 年４月 15 日　国分・隼人ライオンズクラブより、アクアラング一式、テント３張の寄贈を受ける。
昭和 46 年 10 月５日　霧島分遣所開設のため 11 名を採用。10 月 20 日に２名、12 月６日に１名を追加採用し、合計 58 名となる。
昭和 46 年 12 月４日　霧島分遣所に水槽付消防ポンプ自動車（日産Ａ２級 1971 年型２ｔ積）を購入する。
昭和 47 年４月１日　霧島分遣所新庁舎落成。消防吏員 11 名を配置する。
昭和 47 年９月 20 日　消防吏員２名を採用し、合計 60 名となる。
昭和 47 年 10 月１日　組合に牧園町が加入。国分市外３町消防組合となる。
昭和 47 年 10 月２日　消防吏員 12 名を採用し、合計 72 名となる。
昭和 47 年 12 月４日　本署に水槽付消防ポンプ自動車（いすずディーゼル２ｔ積）を購入し配置する。
昭和 48 年２月 16 日　牧園分遣所に普通ポンプ自動車を購入し配置する。
昭和 48 年３月２日　消防庁長官より、竿頭綬を国分市消防団と合同受賞。
昭和 48 年４月１日　組合に福山町が加入。国分市外４町消防組合となる。
昭和 48 年４月３日　消防吏員 21 名を採用。
昭和 48 年４月 10 日　牧園分遣所庁舎落成。消防吏員を 11 名配置する。
昭和 48 年４月 11 日　消防長・中村清氏退任。
昭和 48 年４月 11 日　消防長・谷口純男氏就任。

昭和 48 年８月３日　消防長・谷口純男氏退任。
昭和 48 年８月３日　消防長・福留正男氏就任。
昭和 48 年８月４日　消防吏員２名を採用。
昭和 48 年８月 17 日　福山分遣所に救急車を購入する。
昭和 48 年８月 31 日　福山分遣所に普通ポンプ自動車を購入する。
昭和 48 年９月１日　機構改革を行い、本部に庶務課、警防課を設置するとともに中央署、北署の２署制となる。
昭和 48 年９月３日　福山分遣所新庁舎落成。消防吏員 11 名を配置し、業務を開始する。
昭和 48 年９月 11 日　北消防署に屈折梯子付消防ポンプ自動車を購入し配置する。
昭和 48 年９月 18 日　鹿県共済農業協同組合連合会より救急車贈呈を受け、北消防署に配置する。
昭和 48 年 11 月 10 日　消防吏員３名を採用。
昭和 49 年３月 10 日　警察との専用電話を設ける。
昭和 49 年３月 18 日　北消防署及び福山分遣所に無線基地局を設け、山間地等の難聴解消を図る。
昭和 49 年４月１日　国分市外４町消防組合から国分地区消防組合と名称を変更する。
昭和 49 年４月 15 日　消防吏員 10 名を採用。
昭和 49 年５月 15 日　消防吏員８名を採用。
昭和 49 年７月１日　姶良郡西部消防組合と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。
昭和 49 年 10 月１日　消防長は消防監となる。
昭和 49 年 10 月１日　北消防署に予防係を配置。北消防署管内の災害、火災予防を強化する。
昭和 49 年 11 月１日　消防吏員５名を採用。
昭和 50 年２月 19 日　日本損害保険協会より救急車贈呈を受け、霧島分遣所に配置する。
昭和 50 年４月１日　消防吏員２名を採用し、合計 117 名となる。
昭和 50 年 11 月 14 日　局線集中応答装置及び通話録音装置を購入。中央署に配置する。
昭和 51 年４月３日　日本損害保険協会より救急車の贈呈を受け、隼人分遣所に配置する。
昭和 51 年 10 月 24 日　国分。隼人ライオンズクラブより広報車（トヨタ　ハイエース 15 名乗り）の贈呈を受け、中央署に配置する。
昭和 52 年４月１日　農業気象観測廃止。
昭和 52 年５月 27 日　国分地区第１少年消防クラブ発足（向花小）。
昭和 52 年８月 20 日　ポンプ自動車（トヨタ　ランドクルーザ 1977 年型Ａ２級ＢＤ−１）を購入し、中央署に配置する。
昭和 52 年 10 月 20 日　消防本部訓練用地（358 ㎡）購入。
昭和 53 年 10 月 23 日　初代・林昌治管理者の勇退に伴い、第二代管理者に国分市長・谷口義一氏が就任。
昭和 53 年 11 月 24 日　水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ−Ｄ型）購入し、中央署に配置する。
昭和 54 年４月１日　消防吏員２名を採用。
昭和 54 年７月１日　消防吏員２名を採用。
昭和 54 年 10 月５日　日本損害保険協会より救急車１台（2B 型）の寄贈を受け、中央署に配置する。
昭和 54 年 10 月 13 日　日本防火協会より広報車１台（婦人防火協力会）の寄贈を受け、本部に配置する。
昭和 54 年 12 月 15 日　本部庁舎の増改築を行う。（238.39 ㎡）
昭和 55 年４月１日　消防吏員５名を採用。
昭和 55 年８月 11 日　北消防署に気象観測機器を購入し設置する。
昭和 55 年 10 月１日　大口市外三町消防組合と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。
昭和 55 年 11 月 26 日　株式会社タイヨーより救急車の贈呈を受け、中央消防署に配置する。

昭和 55 年 12 月 22 日　中央消防署に屈折梯子付消防ポンプ自動車を購入し配置する。
昭和 56 年５月 21 日　福山分遣所に気象観測機器を購入し配置する。
昭和 56 年９月 25 日　日本消防協会より救急車の寄贈を受け、福山分遣所に配置する。
昭和 56 年 11 月 22 日　国分・隼人ライオンズクラブより指令車１台の寄贈を受け、消防本部に配置する。
昭和 56 年 12 月１日　消防長・福留正男氏退任。
昭和 56 年 12 月１日　消防長・川東文雄氏就任。
昭和 56 年 12 月 25 日　指揮連絡車１台を購入し、消防本部庶務課に配置する。
昭和 57 年６月 27 日　中央消防署に気象観測機器を購入し、設置する。
昭和 57 年 11 月４日　隼人分遣所の水槽付消防ポンプ自動車Ａ２級（Ｉ-Ａ型）更新。
昭和 58 年４月１日　消防吏員４名を採用。
昭和 58 年 12 月 22 日　指揮連絡車１台を購入し、消防本部警防課に配置する。
昭和 59 年１月１日　垂水市と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。
昭和 59 年１月 10 日　消防長・川東文雄氏退任。（国分市総務課参事へ）
昭和 59 年１月 10 日　消防長・岡元光則氏就任。
昭和 59 年７月 17 日　国分地区幼少年消防クラブ連絡協議会発足。
昭和 59 年８月 28 日　日本消防協会より軽可搬ポンプ２台の寄贈を受け、国分市・隼人町に配置する。
昭和 59 年 11 月 14 日　霧島分遣所の水槽付消防ポンプ自動車Ａ２級（Ｉ-Ａ型）更新。
昭和 60 年８月 23 日　日本消防協会より救急車と軽可搬ポンプ４台の寄贈を受け、救急車を霧島分遣所へ配置し、軽可搬ポンプは国分・隼人の婦人防火クラブに配置する。
昭和 60 年９月１日　日本防火協会会長・笹川良一氏を迎え、幼少年と婦人防火のつどいを開催する。
昭和 60 年 12 月９日　北消防署の消防ポンプ自動車Ａ２級（ＣＤ-Ｉ型）更新。
昭和 61 年４月１日　消防吏員３名を採用。
昭和 61 年５月 25 日　北消防署へ国分ロータリークラブより 10 周年記念事業の一環としてホンダ 61 年式（1200cc）指令車寄贈。
昭和 61 年 10 月１日　北消防署庁舎改修。
昭和 61 年 11 月 25 日　福山分遣所の消防ポンプ自動車Ａ２級（ＣＤ-Ｉ型）更新。
昭和 62 年３月 31 日　消防吏員１名を採用。
昭和 62 年８月 19 日　米丸功氏より救助訓練塔の寄贈を受け、中央署に設置する。
昭和 62 年９月９日　コーアガス鹿児島より国分支店開設記念として救急車１台の寄贈を受け、中央署に配置する。
昭和 62 年 10 月１日　大隅曽於地区消防組合と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。
昭和 62 年 12 月 25 日　救助工作車Ⅱ型を購入し中央署に配置する。
昭和 63 年１月 10 日　消防長・岡元光則氏退任。（国分市総務課参事へ）
昭和 63 年１月 10 日　消防長・西元三一氏就任。
昭和 63 年３月 16 日　日本損害保険協会より救急車２Ｂ型１台の寄贈を受け、北消防署に配置する。
昭和 63 年４月１日　宮崎県都城北諸県広域市町村圏事務組合消防本部と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。
昭和 63 年５月 10 日　㈶全国消防協会より消防機器の改良開発により会長賞受賞。
昭和 63 年 12 月 30 日　北消防署の屈折梯子付消防ポンプ自動車老朽の為、30ｍ級はしご車と買替え配置する。
平成元年３月 31 日　消防吏員９名退職。内２名は定年退職、７名は高齢化対策により管内市町役場へ転出。

平成元年４月１日　消防吏員 10 名を採用(欠員採用)。実人員 119 名。
平成元年４月 19 日　全国消防協会主催の 62 年度消防機器開発コンクールで急流「せき止め器」が秀に選ばれ科学技術庁長官賞を受賞。
平成元年５月 30 日　組合消防発足 20 周年に当たり、記念式典を行う。
平成元年９月８日　屈折梯子付消防ポンプ自動車（55 年購入、中央消防署）の第１回オーバーホールを実施。
平成元年 12 月 15 日　消防長・西元三一氏退任。（国分市総務課へ）
平成元年 12 月 15 日　消防長・西村隆吉氏就任。
平成元年 12 月 27 日　中央消防署の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）更新。
平成２年２月１日　日本自動車工業会より救急車２Ｂ型１台の寄贈を受け、隼人分遣所へ配置。
平成２年４月１日　消防吏員９名が高齢化対策により退職し管内市町役場へ転出。新たに消防吏員７名を採用（欠員補充）。実人員 117 名。
平成２年６月 30 日　マイクロバス 26 名乗り（三菱）を購入。消防本部に配置する。
平成２年７月 22 日　消防庁長官より表彰旗を国分市消防団と合同受賞（平成２年３月８日付）により受賞式典を行う。
平成２年 10 月 31 日　中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車更新。
平成３年３月 25 日　国分調剤薬局の寺脇康文氏より北消防署に訓練塔の寄贈を受ける。
平成３年４月１日　消防吏員 9 名が高齢化対策により退職し、管内市町役場へ転出。新たに消防吏員 12 名を採用（欠員補充）。実人員 120 名。
平成３年６月１日　新たに消防吏員１名を採用。実人員 121 名。
平成３年９月 23 日　ホンダプリモ国分の森田和哉氏より中央消防署査察車としてホンダ３年式（660cc）の寄贈を受ける。
平成３年 11 月 23 日　消防本部へ国分・隼人ライオンズクラブ 30 周年記念事業の一環として、トヨタ３年式（1500cc）指令車の寄贈を受ける。
平成３年 12 月 18 日　広報車として消防本部にニッサン３年式 10 人乗り（3000cc）を購入し配置する。
平成４年２月 15 日　水難救助用ボートを購入し中央消防署に配置する。
平成４年４月１日　消防吏員４名を採用（欠員補充）。実人員 121 名。
平成４年 12 月 27 日　福山分遣所救急車（２Ｂ型）を更新のため購入し配置する。
平成５年１月 18 日　消防本部指揮連絡車（トヨタ　クラウンワゴン）を更新のため購入し配置する。
平成５年２月 27 日　救急処置範囲拡大に伴い救急７点セットを購入し中央署へ配置する。
平成５年３月８日　職員定数条例を改正。定数を 122 名から 138 名とする。
平成５年 11 月２日　住宅防火診断用パーソナルコンピュータを購入し消防本部へ配置する。
平成５年 12 月６日　指揮本部車（四輪駆動車）を更新。
平成６年１月１日　消防長・西村隆吉氏退任。（国分市市民課へ）
平成６年１月１日　消防長・古賀保氏就任。
平成６年３月 21 日　救急モニター（救急７点セット）を購入し、隼人分遣所へ配置する。
平成６年４月１日　消防吏員 10 名を採用（増員分６名、補充４名）する。実人員 126 名となる。
平成６年 12 月 27 日　長島企業グループ（代表・長島公佑氏）より２Ｂ型救急車（トヨタハイエース）の寄贈を受け、中央消防署へ配置する。ジャングルパーク号と命名する。
平成６年 12 月 27 日　本部査察車（トヨタカルディナ）を更新。
平成７年１月 17 日　隼人分遣所の救急車（２Ｂ型トヨタハイエース）を更新。
平成７年２月 16 日　隼人分遣所のタンク車（水－Ｉ－Ａ）を更新。

平成７年３月１日　救急モニター（救急７点セット）を購入し北消防署へ配置する。
平成７年４月１日　消防吏員７名を採用（増員分５名、補充２名）する。実人員 132 名となる。
平成７年８月 24 日　日本船舶振興会より査察車（日産ＡＤバン）の寄贈を受け本部予防課へ配置する。
平成７年 10 月 18 日　中央消防署屈折梯子車（16m級）を 38m級梯子付消防車に更新。
平成８年３月１日　救急モニター（救急７点セット）を購入し霧島分遣所へ配置する。
平成８年４月１日　消防吏員６名採用（増員分）。実人員 138 名。
平成８年５月 23 日　平成８年度鹿児島県総合防災訓練が国分市海浜公園周辺で実施される。
平成８年７月 18 日　第 25 回九州地区消防救助技術指導会を当消防本部で開催のため準備を進めてきたが、当日、台風６号のため中止となる。
平成８年 11 月 26 日　霧島分遣所の救急車（２Ｂ型トヨタハイエース）を更新。
平成８年 12 月 10 日　霧島分遣所のタンク車（水－Ｉ－Ａ）を更新。
平成９年１月１日　消防長・古賀保氏参事に就任。
平成９年１月１日　消防長・池田綱雄氏就任。（国分市企画課より）
平成９年３月 25 日　救急モニター（救急７点セット）を購入し福山分遣所へ配置する。
平成９年３月 31 日　古賀保氏（参事）定年退任。
平成９年４月 28 日　本部・中央署庁舎の避難地用地購入。（取得価格 525,272 千円）
平成９年８月 26 日　日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け中央消防署へ配置する。「火災保険号」と命名する。
平成９年 11 月 28 日　北署ポンプ車（四輪駆動車）を更新。
平成 10 年３月 31 日　消防吏員１名が定年退職する。
平成 10 年４月１日　消防吏員２名を採用（欠員補充）。実人員 138 名となる。
平成 10 年 11 月５日　福山分遣所の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ四輪駆動車）を更新。
平成 11 年３月 31 日　消防吏員１名が定年退職する。
平成 11 年３月 31 日　消防本部（署）が新庁舎落成。４月 27 日に移転する。
平成 11 年４月１日　機構改革を行い本部に予防課を新設するとともに、警防課に救急救助係及び通信指令室を設ける。
平成 11 年４月 27 日　消防緊急通信指令システム（自治省消防庁Ⅱ型）の運用開始。
平成 11 年５月 24 日　国分地区消防組合設立 30 周年ならびに庁舎落成記念式典を行う。
平成 11 年９月７日　財団法人日本消防協会より可搬消防ポンプ付軽積載車の寄贈を受ける。
平成 11 年 10 月 13 日　中央消防署の消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ）を更新。
平成 11 年 12 月９日　北消防署の指揮連絡車を更新。
平成 12 年３月４日　東九州自動車道（国分ＩＣ～隼人東ＩＣ間）の開通に伴い、救急・消防業務を開始する。
平成 12 年４月１日　消防長・池田綱雄氏退任。（国分市市民福祉部長へ）
平成 12 年４月１日　消防長・福永洚氏就任。
平成 12 年６月 26 日　救急モニターを購入し中央消防署へ配置する。
平成 12 年９月 20 日　北消防署の梯子車（昭和 63 年購入）をオーバーホール（第１回目）
平成 12 年 10 月 11 日　福山分遣所の救急車（２Ｂ型トヨタ）を更新。
平成 13 年３月 31 日　消防吏員２名が定年退職する。
平成 13 年４月１日　消防吏員４名を採用（欠員補充）。実人員 138 名となる。
平成 13 年 11 月 10 日　国分・隼人ライオンズクラブ（結成 40 周年）より査察車（トヨタカルディナ）の寄贈を受け本部に配置する。

平成 13 年 11 月 29 日　中央消防署の２Ｂ型救急車の更新に伴い、高規格救急車（トヨタハイメディック）及び資機材を購入し配置する。
平成 13 年 12 月 13 日　隼人分遣所の救急車（平成７年購入２Ｂ型）を更新。
平成 13 年 12 月 19 日　中央消防署の救助工作車Ⅱ型（昭和 62 年購入）を更新。
平成 13 年 12 月 19 日　消防吏員１名が中途退職する（死亡）。
平成 14 年２月１日　中央消防署高規格救急車の運用を開始する。
平成 14 年３月２日　東九州自動車道（国分ＩＣ～末吉・財部ＩＣ間）の開通に伴い、救急・消防業務を開始する。
平成 14 年３月 31 日　消防吏員１名が定年退職する。
平成 14 年４月１日　消防吏員２名を採用（欠員補充）。実人員 138 名となる。
平成 14 年 10 月９日　第二代・谷口義一管理者の勇退に伴い、第三代管理者に国分市長、鶴丸明人氏が就任。
平成 15 年２月 12 日　福山分遣所庁舎の増改築を行い落成。
平成 15 年３月 31 日　消防吏員２名が定年退職する。
平成 15 年３月 31 日　消防長・福永洚氏退任。（国分市収入役へ）
平成 15 年４月１日　消防長・中馬達己氏就任。（国分市市民福祉部長より）
平成 15 年９月 30 日　エアーテントを購入。
平成 15 年 11 月 27 日　北消防署の救急車（平成７年購入）を２Ｂ型高規格対応に更新。
平成 16 年３月 15 日　霧島分遣所の増改築を行い落成。
平成 16 年３月 31 日　資機材搬送車を購入し配備する。
平成 16 年３月 31 日　消防吏員１名が定年退職する。
平成 16 年７月９日　第 33 回九州地区消防救助技術指導会が、国分市海浜公園グランドで開催。
平成 16 年 10 月１日　消防吏員２名を採用（欠員補充）。実人員 138 名となる。
平成 16 年 11 月２日　旧消防本部中央消防署を解体。
平成 16 年 12 月 13 日　霧島分遣所の救急車（平成８年購入）を２Ｂ型高規格対応に更新。
平成 16 年 12 月 20 日　中央消防署の梯子車（平成７年購入）をオーバーホール。（第１回目）
平成 17 年３月 31 日　消防吏員２名が定年退職する。
平成 17 年４月１日　消防吏員２名を採用（欠員補充）。実人員 138 名となる。
平成 17 年 10 月１日　消防吏員３名を採用。実人員 141 名となる。
平成 17 年 11 月７日　１市６町による行政合併に伴い、国分地区消防組合を解散。新たに旧溝辺町、旧横川町が加わり、単独消防として名称が霧島市消防局となる。旧溝辺町 14 名、旧横川町９名、合計 23 名と市職員３名を加え、条例定数 176 名に対し実人員 167 名となる。同時に機構改革を行い、警防課の通信指令室を情報司令課に昇格し、警防課へ新たに消防団係を設ける。市町合併に伴い管内が拡大されたことにより、それに対応する消防指令センターの改修を行い、同日運用開始。
平成 17 年 11 月 29 日　初代霧島市長に前田終止氏就任。
平成 17 年 12 月 31 日　消防吏員１名が早期退職。実人員 166 名となる。
平成 18 年１月 31 日　救助工作車Ⅱ型を購入し中央消防署に配置する。従来の救助工作車Ⅱ型（平成 13 年購入）を溝辺分遣所に配置する。
平成 18 年３月 25 日　２Ｂ型高規格対応救急車を購入し隼人分遣所に配置する。従来の救急車（平成 13 年度購入）を溝辺分遣所に配置する。

平成 18 年３月 31 日　消防吏員９名退職（定年退職２名、早期退職７名）。
平成 18 年４月１日　消防吏員 17 名を採用。新たに市職員２名を加え、実人員 176 名となる。
平成 18 年５月９日　消防吏員１名退職。実人員 175 名となる。
平成 18 年 10 月 31 日　消防局長・中馬達己氏退任。（霧島市社会福祉協議会へ）
平成 18 年 11 月１日　消防局長・中村昭氏就任。（霧島市福山総合支所長より）
平成 19 年３月 31 日　消防吏員６名が定年退職する。
平成 19 年４月１日　消防吏員７名を採用（欠員補充）。実人員 176 名となる。
平成 19 年４月３日　鎌田建設グループから無線中継車と消防団連絡車の寄贈を受ける。
平成 19 年４月５日　隼人分遣所、新庁舎へ移転する。
平成 19 年 12 月 14 日　高規格救急車を２台購入し、溝辺分遣所と横川分遣所に配置する。
平成 20 年３月 31 日　消防吏員８名が退職する（定年退職６名、早期退職２名）。
平成 20 年４月１日　消防吏員８名を採用（欠員補充）。実人員 176 名となる。
平成 20 年９月 27 日　静岡県、谷津氏から救助資材の寄贈を受ける。
平成 20 年 10 月 22 日　霧島市役所に１名出向。実人員 175 名となる。
平成 20 年 12 月 15 日　北消防署梯子車（昭和 63 年購入）をオーバーホール。（第２回目）
平成 21 年１月 15 日　高規格救急車を購入し、中央署に配置する。
平成 21 年３月 13 日　消防吏員１名が退職する。実人員 174 名となる。
平成 21 年３月 31 日　消防局長・中村昭氏退任。他に消防吏員２名が退職する（定年退職１名、早期退職１名）。実人員 171 名となる。
平成 21 年４月１日　消防局長・後庵博文氏就任（中央署長より）。
平成 21 年４月１日　消防吏員１名を採用（欠員補充）。実人員 172 名となる。
平成 21 年５月１日　消防吏員３名を採用（欠員補充）。実人員 175 名となる。
平成 21 年６月 30 日　指揮隊車を配置（松山氏より寄贈）。
平成 21 年９月 30 日　消防吏員２名が退職する。実人員 173 名となる。
平成 21 年 10 月 20 日　北消防署新庁舎へ移転する。
平成 21 年 12 月 14 日　中央消防署の梯子車（平成７年購入）をオーバーホール（第２回目）。
平成 21 年 12 月 31 日　消防吏員１名が退職する。実人員 172 名となる。
平成 22 年３月 31 日　消防吏員９名が退職する（定年退職５名、早期退職４名）。
平成 22 年３月 31 日　中央消防署のタンク車（水-Ⅱ）を更新。横川分遣所のタンク車をポンプ車（ＣＤ-Ⅰ）へ更新。
平成 22 年４月１日　消防吏員 13 名を採用（欠員補充）。実人員 176 名となる。
平成 22 年 11 月 26 日　統合型位置情報通知装置を設置する。
平成 22 年 12 月 14 日　中央消防署の高規格救急車を更新。
平成 23 年２月 28 日　消防吏員１名が退職する。実人員 175 名となる。
平成 23 年３月 14 日　東日本大震災（３月 11 日）に伴い、緊急援助隊２隊７名を派遣する。
平成 23 年３月 29 日　横川分遣所の改修を行い、落成。
平成 23 年３月 30 日　隼人分遣所のタンク車（水Ⅰ-Ａ）を更新。
平成 23 年３月 31 日　消防吏員６名が定年退職する。
平成 23 年３月 31 日　消防局長・後庵博文氏退任。
平成 23 年４月１日　消防局長・田中義春氏就任（消防局総務課長より）。
平成 23 年４月１日　消防吏員６名を採用（欠員補充）。実人員 175 名となる。
平成 23 年５月 26 日　鹿児島県防災訓練が牧園町霧島高原国民休養地及び周辺地域で実施される。

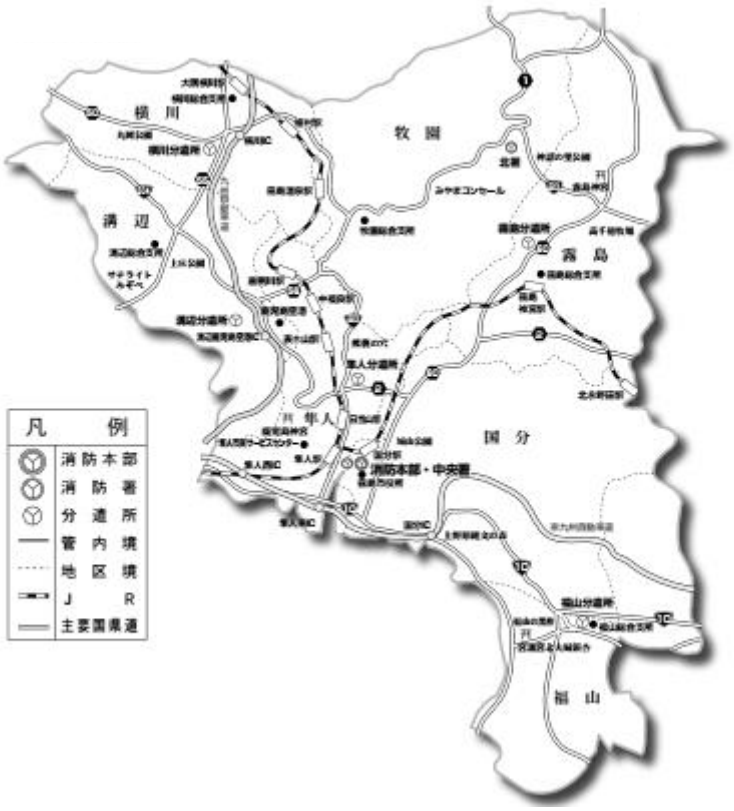
平成 23 年８月 26 日　国分隼人ライオンズクラブ（結成 50 周年）より査察車（トヨタサクシード）の寄贈を受け本部に配置。
平成 23 年９月１日　職員条例定数を改正。定数を 176 名から 181 名とする。
消防吏員を５名採用。実人員 180 名となる。
平成 23 年９月 30 日　消防吏員１名が退職する。実人員 179 名となる。
平成 24 年２月 23 日　溝辺分遣所のタンク車（水-Ⅱ）を更新。
平成 24 年３月 26 日　福山分遣所のポンプ車（ＣＤ-Ⅰ）を更新。
平成 24 年３月 28 日　北署のポンプ車（ＣＤ-Ⅰ）を更新。
平成 24 年３月 31 日　消防吏員６名が退職する（定年退職２名、早期退職４名）。
平成 24 年４月１日　消防吏員７名を採用（欠員補充）。実人員 180 名となる。
平成 24 年８月２日　消防吏員１名が退職する。実人員 179 名となる。
平成 25 年１月 31 日　中央署の査察車を廃車。
平成 25 年２月 20 日　北署の救急車を更新。
平成 25 年３月５日　北署の梯子車（先端屈折式 35ｍ級梯子車）を更新。
平成 25 年３月 18 日　中央署のポンプ車（ＣＤ-Ⅰ）を更新。
平成 25 年３月 21 日　霧島分遣所のタンク車（水Ⅰ-Ａ）を更新。
平成 25 年３月 31 日　消防吏員７名が退職する（定年退職３名、早期退職４名）。
平成 25 年３月 31 日　消防局長・田中義春氏退任。
平成 25 年４月１日　消防局長・塚田修二氏就任（中央署長より）。
平成 25 年４月１日　消防吏員９名採用（欠員補充）。実人員 181 名となる。
平成 25 年 11 月 25 日　自治体消防 65 周年消防団 120 周年記念事業（東京）。
平成 25 年 12 月 20 日　中央署、霧島分遣所の高規格救急車を更新。
平成 26 年１月 30 日　北署のタンク車（水Ⅰ-Ａ）を更新。
平成 26 年２月 25 日　総務省消防庁より緊急消防援助隊用車両として機動連絡車配備。
平成 26 年３月 31 日　消防局長・塚田修二氏退任。
平成 26 年４月１日　消防局長・木佐貫誠氏就任（消防局次長より）。
平成 26 年４月１日　霧島市役所総務部安心安全課に職員１名出向。
平成 26 年４月１日　消防吏員２名採用（欠員補充）。実人員 181 名となる。
平成 26 年 12 月８日　中央署の梯子車（平成７年 38ｍ級）を 40ｍ級梯子車に更新。
平成 27 年３月 31 日　消防吏員２名が定年退職する。
平成 27 年４月１日　消防吏員２名採用（欠員補充）。実人員 181 名となる。
平成 27 年５月 31 日　消防吏員２名が退職する。実人員 179 名となる。
平成 27 年 12 月４日　浜田医院の補助により、隼人分遣所の高規格救急車を更新。
平和リース株式会社の補助により、横川分遣所の高規格救急車を更新。
平成 27 年 12 月 15 日　消防吏員１名が退職する。実人員 178 名となる。
平成 28 年３月 31 日　消防吏員５名が退職する（定年退職４名、普通退職１名）。実人員 173 名となる。
平成 28 年３月 31 日　消防局長・木佐貫誠氏退任。
平成 28 年４月１日　消防局長・馬場勝芳氏就任（霧島市農林水産部長より）。
平成 28 年４月１日　消防吏員７名採用（欠員補充）。実人員 180 名となる。
平成 28 年４月１日　消防救急デジタル無線運用開始及び高機能消防指令システム更新。
平成 28 年４月 14 日　熊本地震（4 月 14 日前震、４月 16 日本震）に伴い緊急消防援助隊３隊 22 名を派遣する。

平成 28 年 12 月２日　中央署の高規格救急車（救急３）を更新。
平成 28 年 12 月 20 日　後方支援車（マイクロバス）を更新。
平成 29 年３月 31 日　消防吏員１名が定年退職する。実人員 179 名となる。
平成 29 年４月１日　消防吏員２名採用（欠員補充）。実人員 181 名となる。
平成 29 年 12 月１日　溝辺分遣所の高規格救急車を更新。
平成 29 年 12 月 13 日　溝辺分遣所の救助工作車を更新。
平成 29 年 12 月 19 日　消防吏員１名が退職する。実人員 180 名となる。
平成 30 年３月 31 日　消防局長・馬場勝芳氏退任。
平成 30 年３月 31 日　消防吏員２名が退職する。実人員 178 名となる。
平成 30 年４月１日　消防局長・久保隆義氏就任（市民環境部長より）。
平成 30 年４月１日　消防吏員２名採用（欠員補充）及び事務吏員が１名減となり、実人員 180 名となる。
平成 30 年 12 月 31 日　消防吏員１名が退職する。実人員 179 名となる。
平成 31 年２月８日　北署の指揮車を更新。
平成 31 年２月 22 日　総務連絡車を更新。
平成 31 年３月１日　資機材搬送車を更新。
平成 31 年３月 31 日　消防局長・久保隆義氏退任。
平成 31 年３月 31 日　消防吏員２名が退職する。実人員 177 名となる。
平成 31 年４月１日　消防局長・堀切昇氏就任（上下水道部長より）。
平成 31 年４月１日　霧島市職員定数条例の改正により、定数を 181 名から 184 名とする。
平成 31 年４月１日　消防吏員５名を採用（欠員補充）及び市長部局（財政課）出向者 1 名で、実人員 183 名となる。
令和元年６月 28 日　北消防署北署の梯子車（平成 25 年購入）をオーバーホール（１回目）。
令和元年９月 27 日　平和リース株式会社から一部補助を受け、福山分遣所の高規格救急車を更新。
令和元年 11 月 14 日　第 30 回全国消防長会警防防災委員会を霧島市（ホテル京セラ）で開催。
令和２年２月 26 日　有限会社万膳酒造から一部補助を受け、中央署の高規格救急車（救急１）を更新。
令和２年２月 29 日　消防吏員（市長部局出向者）１名が退職する。
令和２年３月 31 日　消防局長・堀切昇氏退任。
令和２年３月 31 日　消防吏員２名が定年退職する。実人員 181 名となる。
令和２年４月１日　消防局長・喜聞浩志氏就任（消防局次長より）。
令和２年４月１日　霧島市職員定数条例の改正により、定数を 184 名から 189 名とする。
令和２年４月１日　消防吏員５名採用。実人員 186 名となる。
令和２年８月 25 日　ホワイトシャッタープロジェクト事業に関する協定書締結。
令和２年 10 月１日　鹿児島県消防長会へ１名出向。
令和２年 11 月 26 日　隼人分遣所の高規格救急車（救急２）を更新。
令和３年３月 12 日　中央署の救助工作車を更新。
令和３年３月 31 日　消防局長・喜聞浩志氏退任。
令和３年３月 31 日　消防吏員３名が定年退職する。実人員 183 名となる。
令和３年４月１日　消防局長・堀ノ内剛氏就任（消防局次長より）。
令和３年４月１日　消防吏員４名採用。187 名となる。
令和３年 11 月 11 日　北署の高規格救急車（救急５）更新（ヤマグチ株式会社より一部補助）。
令和４年３月 28 日　消防本部警防課のミニ消防自動車（軽積載車）更新。

令和４年３月 31 日　　消防局長・堀ノ内剛氏退任。
令和４年３月 31 日　　消防吏員５名が退職（定年退職）する。実人員 180 名となる。
令和４年４月１日　　消防局長・細山田孝美氏就任（消防局次長より）。
令和４年４月１日　　消防吏員４名採用。実人員 184 名となる。
令和４年 11 月 11 日　中央署の高規格救急車（救急３）を更新。
令和５年３月７日　　中央消防署のタンク車（水-Ⅱ）を更新。
令和５年３月 16 日　　横川分遣所のポンプ車（ＣＤ-Ⅰ）を更新。
令和５年３月 31 日　　消防吏員３名が退職する。実人員 181 名となる。
令和５年４月１日　　消防吏員３名採用。185 名となる。
令和５年 11 月 15 日　霧島分遣所、横川分遣所の高規格救急自動車を更新。
令和６年３月 31 日　　消防吏員２名が退職する。実人員 183 名となる。
令和６年３月 31 日　　消防局長・細山田孝美氏退任
令和６年４月１日　　消防局長・川﨑敏朗氏就任（消防局次長より）。
令和６年４月１日　　消防吏員２名採用。実人員 185 名となる。

３．署所の配置

令和 6. 3. 31 現在

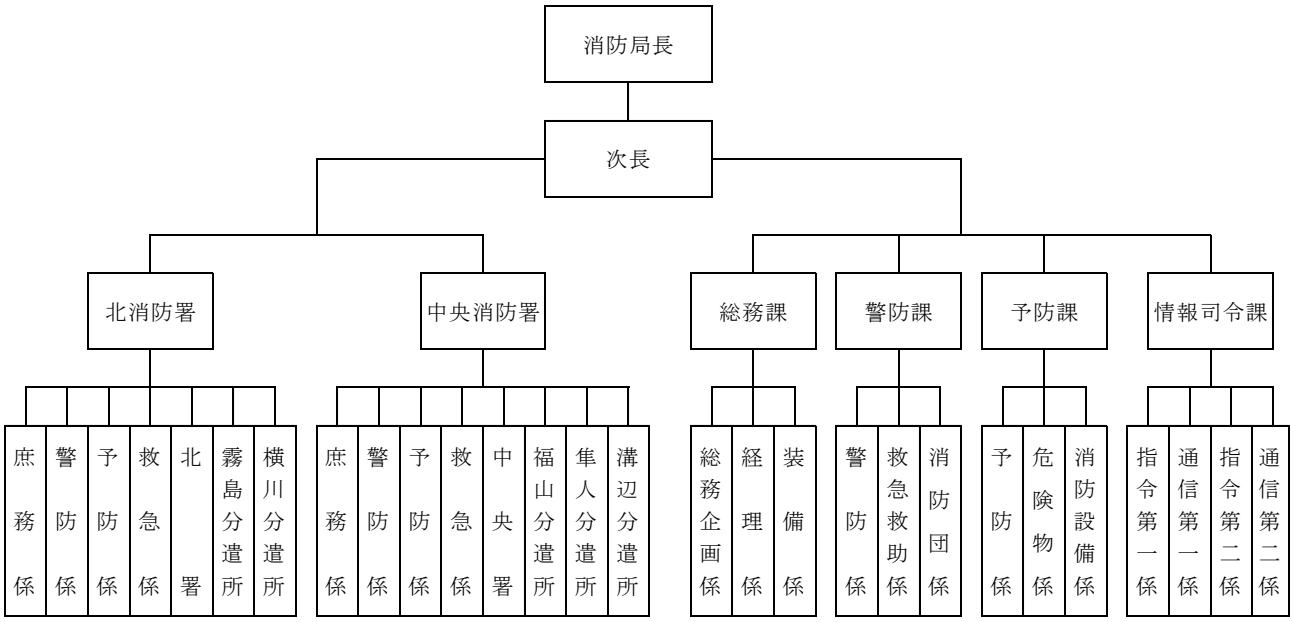


（消防庁舎の概要）

区分 / 種別		所在地	構造	敷地面積	延床面積	建築面積
消防本部		霧島市国分中央三丁目41番5号	鉄筋コンクリート4階建（庁舎） 鉄筋コンクリート6階建（訓練塔）	10,497.00㎡（避難地駐車場を含む）	4,132.63㎡	1,477.45㎡
中央消防署管轄	中央署	霧島市国分中央三丁目41番5号（消防本部に併置）	鉄筋コンクリート4階建て	10,497.00㎡（避難地駐車場を含む）	4,132.63㎡	1,477.45㎡
	隼人分遣所	霧島市隼人町西光寺119番地1	鉄筋コンクリート平屋建て	3,818.98㎡	439.00㎡	463.50㎡
	福山分遣所	霧島市福山町福山5342番地4	鉄筋コンクリート平屋建て	401.08㎡	176.13㎡	184.55㎡
	溝辺分遣所	霧島市溝辺町麓1616番地39	鉄筋コンクリート平屋建て（訓練塔含む）	3,718.58㎡	429.40㎡	377.98㎡
北消防署管轄	北署	霧島市牧園町高千穂3855番地122	鉄筋コンクリート２階建て（車庫棟・訓練塔含む）	8,442.00㎡	1,917.23㎡	1,065.93㎡
	霧島分遣所	霧島市霧島田口495番地	鉄筋コンクリート平屋建て	880.87㎡	197.65㎡	197.65㎡
	横川分遣所	霧島市横川町上ノ3414番地1	鉄筋コンクリート平屋建て	2,258.00㎡	233.00㎡	235.00㎡

４．消防局の組織

令和 6. 3. 31 現在



５．消防職員の配置状況

※（ ）は、次長兼務
※出向者５名（教官、入校、本庁）は総数に含めず。

区分＼職・階級		消防吏員							その他職員	計
		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士		
消防局長		1								1
次長			2							2
計		1	2	0	0	0	0	0	0	3
消防本部	総務課		(1)	2		3			2	7
	警防課		1	1	3	2	1			8
	予防課		1	2	1	2	1			7
	情報司令課		1	2	4	4				11
	計	0	3	7	8	11	2	0	2	33
中央消防署	署長		(1)							
	副署長			1						1
	予防係		1		1	1	1			4
	中央署			5	4	14	12	11		46
	隼人分遣所			3	4	7	3			17
	福山分遣所			3	2	2	3	1		11
	溝辺分遣所			3	4	4	6			17
	計	0	1	15	15	28	25	12	0	96
北消防署	署長		1							1
	副署長			1						1
	予防係									0
	北署			4	4	6	5	7		26
	霧島分遣所			3	2	3	3			11
	横川分遣所			3	2	3	2	1		11
	計	0	1	11	8	12	10	8	0	50
合計		1	7	33	31	51	37	20	2	182

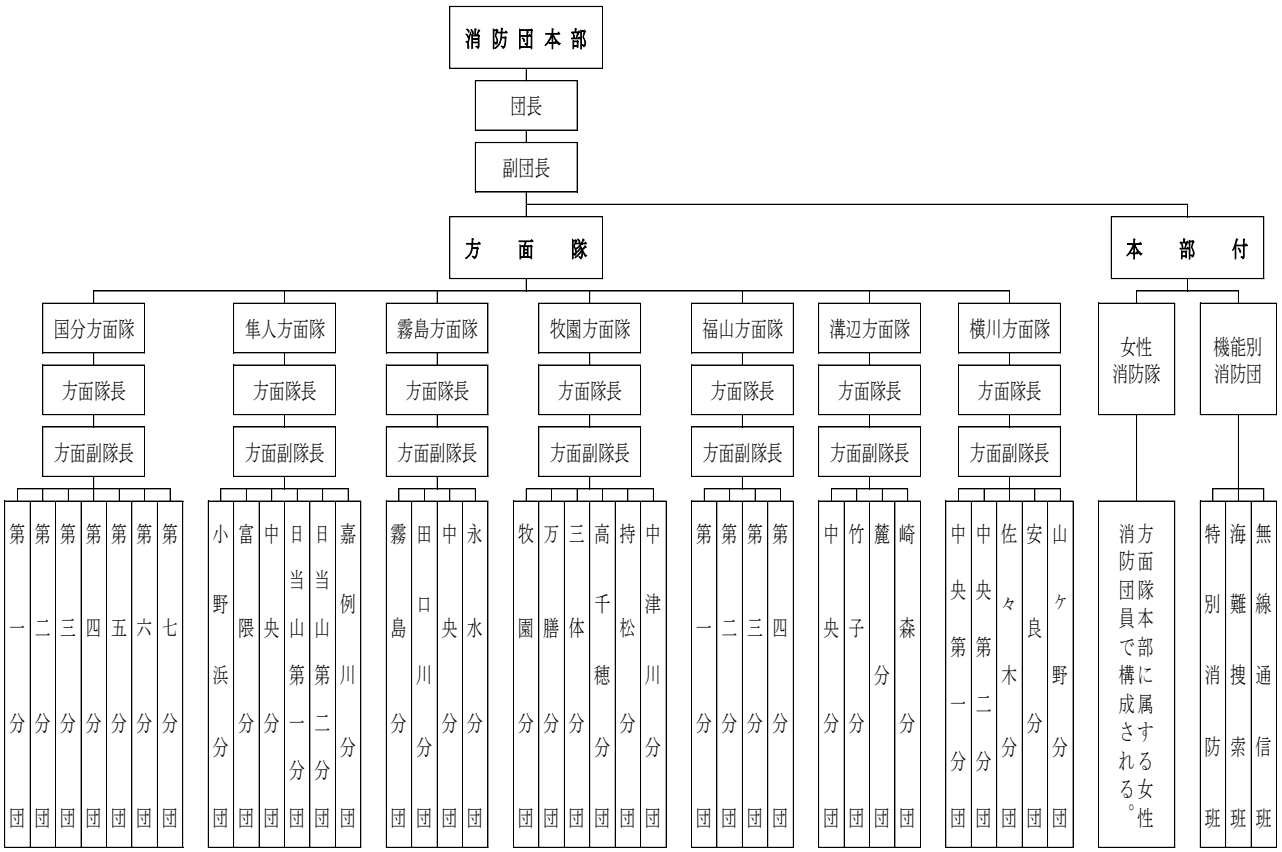
６．消防力の現勢

令和6.3.31現在

種別＼所属	本部	中央署	隼人分遣所	福山分遣所	溝辺分遣所	北署	霧島分遣所	横川分遣所	計
はしご車		1				1			2
タンク車		1	1		1	1	1		5
ポンプ車		1		1		1		1	4
救急車	1	2	1	1	1	1	1	1	9
広報車	1								1
指揮車	1	1				1			3
救助工作車		1			1				2
後方支援車	1								1
査察車	1								1
搬送車	2								2
連絡車	3								3
合計	10	7	2	2	3	5	2	2	33

（単位：台）

７．消防団の組織



８．消防局財政

（１）市予算と消防予算　　（単位：千円）

区分	令和５年度当初 予　算　額
市　一　般　会　計	64,930,000
消　　防　　費 （水防防災費・災害対策費は除く）	1,854,830
比　　率	2.86%

（２）消防費の内訳　　（単位：千円）

区　　分	令和５年度当初予算額
常　備　消　防　費	1,482,656
非　常　備　消　防　費	185,306
消　防　施　設　費	186,868
計	1,854,830

（３）消防費と人口比率　　（単位：円）

区分	消防費	１世帯当たり (62,581世帯)	１人当たり (123,179人)
予算額	1,854,830,000	29,639	15,058

９．消防相互応援協定締結状況

協定先の市町	協定の内容	締結年月日
○ 鹿児島県	鹿児島県内消防相互応援協定	平成30年12月20日
○ 鹿児島県	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定	平成10年6月26日
○ 鹿児島県ドクターヘリ	鹿児島県ドクターヘリ運行事業における救急搬送に関する相互応援協定	平成23年12月22日
○ 姶良市	消防相互応援協定	平成22年3月23日
○ 伊佐湧水消防組合	消防相互応援協定	平成21年2月2日
○ 垂水市	消防相互応援協定	平成17年12月1日
○ 大隅曽於地区消防組合	消防相互応援協定	平成17年12月1日
○ さつま町	消防相互応援協定	平成18年2月1日
○ 西諸広域行政事務組合	消防相互応援協定	平成17年12月1日
○ 都城市	消防・救急業務相互応援協定	平成18年1月1日
○ 大隅肝属地区消防組合	消防・救急相互応援協定	平成27年7月13日
○ 離島市町村・消防組合	救急業務応援協定	平成17年12月27日
中種子町，西之表市，伊仙町，三島村		平成18年1月10日
徳之島町，天城町，南種子町，十島村		平成18年1月20日
和泊町，知名町，与論町，屋久島町		平成18年2月28日
大島地区消防組合		平成19年10月1日
○ 大隅曽於地区消防組合	東九州自動車道における消防相互応援協定	平成17年11月7日
○ 姶良市	隼人道路における消防相互応援協定	平成22年3月23日
○ 関係市町村	九州縦貫自動車道における消防相互応援協定	平成28年9月24日
○ 霧島警察署	非常災害相互応援協定 （横川署廃止に伴い再締結）	令和2年10月1日
○ 姶良・伊佐地域振興局,霧島警察署	妙見トンネルにおける事故発生時の通報・出動及び施設管理に関する協定	平成23年9月1日
○ 長井クレーン工業株式会社	災害（事故）発生時における救護作業要請	平成17年12月1日
○ 有限会社池上クレーン	災害（事故）発生時における救護作業要請	平成26年2月10日
○ 鹿児島空港	消火救難活動に関する協定	平成31年3月1日
○ 姶良保健所	新型コロナウィルス感染症の患者の移送に関する取り決め	令和2年4月30日
○ 姶良伊佐地域生コンクリート協同組合	災害時等における消防用水等の供給に関する協定	令和5年11月13日
○ 鹿児島県姶良保健所	一類感染症の患者の移送に関する協定	令和6年3月5日

２．総　務

1．消防職員の階級別年齢構成

令和6.4.1現在

階級別 / 年齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
20歳未満							1		1
20歳～25歳未満							15		15
25歳～30歳未満						9	6		15
30歳～35歳未満					1	21			22
35歳～40歳未満				2	26	8		1	37
40歳～45歳未満				5	14				19
45歳～50歳未満			1	19	3			1	24
50歳～55歳未満			19	5	6				30
55歳以上	1	7	13	1	2				24
計	1	7	33	32	52	38	22	2	187
平均年齢	58.0	57.8	54.1	46.7	41.5	32.0	23.2	40.5	41.2

2．年度別職員研修派遣状況

令和6.3.31現在

区分	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
消防大学校	新任消防長科	1	1					2
	幹部科					1		1
	幹部研修科		1	1	1			3
	警防科	1						1
	予防科							0
	救急科							0
	救助科				1			1
	危険物保安科							0
	火災調査（講）						1	1
	危機管理（講）							0
	査察マネージメントコース	1						1
	消防団員活性化コース		1					1
県消防学校	初任教育	2	5	5	3	3	2	20
	初級幹部科	2					2	4
	中級幹部科		1		2			3
	上級幹部科						2	2
	予防査察科	1	1	2	2	2	2	10
	火災調査科	1	1	2	2	2	2	10
	警防科					2		2
	救急科	2	3	6	3	3	2	19
	救助科	2	2	2	2	2	2	12
	操法審査員研修	8			8	8		24
救命士	救急救命士養成研修	1	1	1	1	1	1	6
	指導救命士養成研修	1	1	1		1	1	5
	気管挿管実習	3	3		3	3	3	15
	処置拡大認定講習	8	8	2				18

3．職員の特殊資格取得状況

令和6．3．31現在

免許等種別＼階級			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
自動車運転免許	一種	大型	1	7	33	32	48	37	14		172
		中型					1	1			2
		準中型					1				1
		普通	1	7	33	32	52	38	22	2	187
	二種	大型			1						1
		普通			1						1
消防設備士		甲種４類						1			1
		乙種１類						1			1
		乙種４類					1	1	1		3
		乙種６類	1			3	2	2			8
危険物取扱者		甲種				1					1
		乙種		3	29	30	47	23	13		145
		丙種	1		1						2
予防技術資格者		査察	1	7	22	12	21	9	3		75
		設備		1	7	7	6	1	1		23
		危険物		1	1	4	6	2	1		15
ドローン認定者				3	11	17	20	12	1		64
陸上特殊無線			1	2	16	26	13	4	4		66
主任無線従事者						5					5
小型船舶			1	3	9	12	14	4			43
小型移動式クレーン			1	2	12	12	14	3	1		45
玉掛け			1	2	12	12	14	4	1		46
潜水士				1	2	4	8	6	6		27
ロープレスキュー講習					2	6	7	4			19
スイフトウォーターレスキュー講習					2	4	9	3			18
救急救命士	資格者			2	9	13	19	15	3		61
	気管挿管認定			2	9	13	18	12			54
	薬剤認定			2	9	13	19	15	3		61
	指導救命士			1	1	4					6
応急手当指導員			1	7	33	32	52	37	13		175
JPTEC講習				2	11	15	16	10			54
MCLS講習					14	10	7	2			33

４．令和5年度における主な行事

月　　日	行　　事　　名	実 施 場 所
4月11日	市長観閲式	消　防　本　部
5月26日	第45回　鹿児島県消防救助技術指導会	鹿 児 島 県 消 防 学 校
7月19日20日	第1回　甲種防火管理新規講習	消　防　本　部
7月21日	第51回　九州地区消防救助技術指導会	宮　崎　市
8月25日	第51回　全国消防救助技術大会	札　幌　市
10月21日	鹿児島空港消火救難訓練	鹿　児　島　空　港
11月9日～15日	秋季火災予防運動及び合同演習	各　地　区
11月18日	消防フェスタ	消　防　本　部
11月25日26日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練	福　岡　県
11月28日29日	第2回　甲種防火管理新規講習	消　防　本　部
1月6日	消防出初式	お　祭　り　広　場
2月20日～22日	乙種防火管理講習・甲種防火管理再講習 防火・防災管理再講習 防災管理新規講習	消　防　本　部
3月1日～7日	春季火災予防運動及び合同演習	各　地　区 霧　島　市　一　円

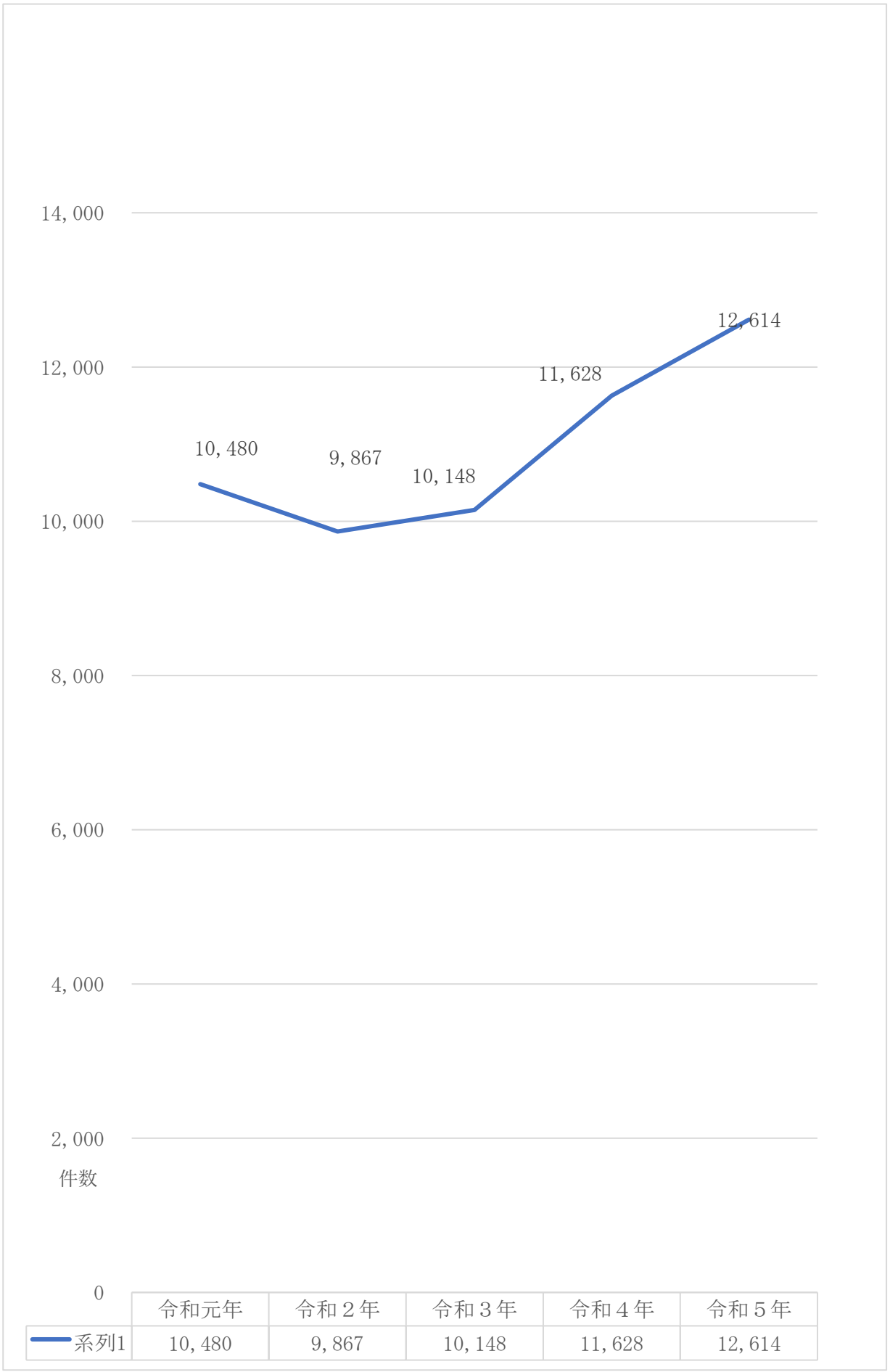
３．警　防

１．消防水利の状況

R6.3.31現在

種別			合計	中央消防署				北消防署		
				国分	隼人	福山	溝辺	牧園	霧島	横川
合計			2,887	904	632	239	297	300	281	234
消火栓	公設	150㎜以上	519	263	170	25	28	3	5	25
		150㎜未満	1,198	362	310	65	117	150	62	132
	私設	150㎜以上	54	3	0	0	0	7	44	0
		150㎜未満	169	19	7	1	10	39	93	0
	小計		1,940	647	487	91	155	199	204	157
貯水槽	公設	40㎥以上	477	70	33	101	105	61	63	44
		20㎥～40㎥未満	185	37	69	38	9	8	4	20
		20㎥未満	201	129	24	9	6	26	1	6
	私設	40㎥以上	48	7	11	0	16	2	6	6
		20㎥～40㎥未満	17	5	7	0	0	2	2	1
		20㎥未満	19	9	1	0	6	2	1	0
	小計		947	257	145	148	142	101	77	77

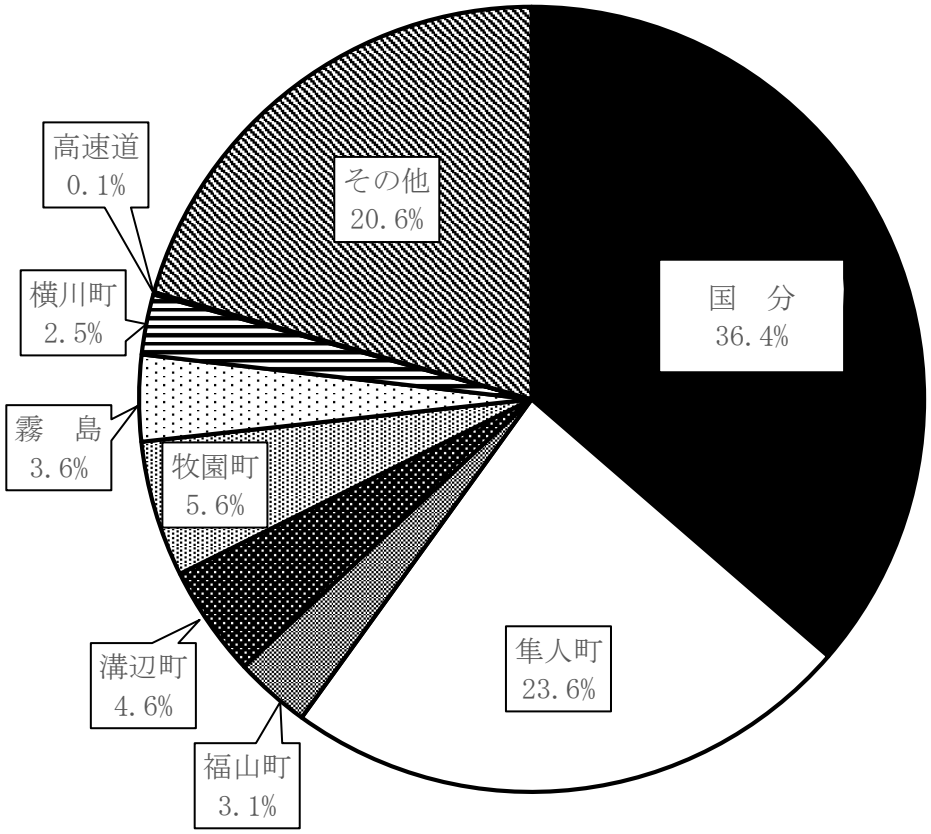
２．過去５年間 119 番送受信件数【令和元年～令和５年】



	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
系列1	10, 480	9, 867	10, 148	11, 628	12, 614

３．地区別１１９番受信状況

（令和５年1月1日～令和５年12月31日）



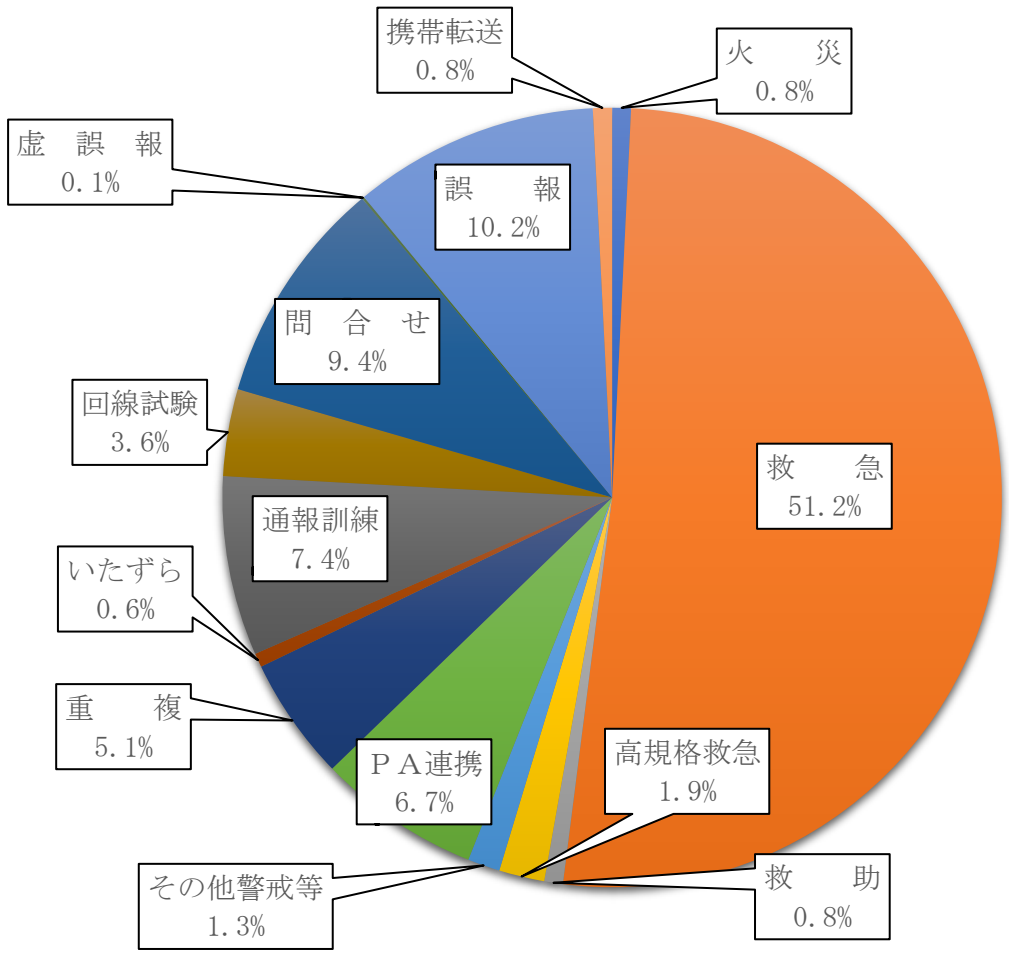
	合　計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総受信数	12,614	1,113	905	1,018	977	1,011	1,070	1,284	1,106	1,058	980	980	1,112
国　分	4,586	402	345	359	340	332	407	493	395	377	339	361	436
隼人町	2,977	296	194	247	235	229	216	275	253	238	259	265	270
福山町	394	28	42	36	31	32	27	34	38	38	27	24	37
溝辺町	579	56	21	43	61	38	46	51	51	50	59	41	62
牧園町	707	66	43	65	44	68	45	51	64	75	55	65	66
霧　島	448	40	27	36	37	37	35	49	30	48	45	38	26
横川町	313	19	18	22	22	26	34	32	28	24	32	20	36
高速道	12	1	1	0	0	2	0	1	4	0	1	0	2
その他	2,598	205	214	210	207	247	260	298	243	208	163	166	177

（単位：件）

※　その他　発信地区が不明

４．災害種別１１９番受信状況

（令和５年1月1日～令和５年12月31日）



	合　計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総受信数	12,614	1,113	905	1,018	977	1,011	1,070	1,284	1,106	1,058	980	980	1,112
火　災	98	20	13	5	5	9	4	7	9	3	10	5	8
救　急	6,464	609	445	529	471	484	501	673	598	588	491	500	575
救　助	97	8	4	7	5	15	9	10	10	6	9	8	6
高規格救急	238	32	20	12	17	19	16	16	19	16	23	16	32
その他警戒等	169	10	9	10	7	11	8	26	22	11	15	14	26
ＰＡ連携	850	85	46	47	64	66	65	86	74	60	78	73	106
重　複	643	70	66	42	50	58	53	70	50	38	53	44	49
いたずら	73	5	8	9	17	11	5	10	1	4	2	0	1
通報訓練	939	41	62	101	83	80	104	57	49	87	78	106	91
回線試験	455	28	23	52	52	35	34	33	28	42	56	44	28
問　合　せ	1,190	130	100	86	65	69	101	100	94	90	102	125	128
虚　誤　報	12	1	1	3	2	1	2	0	0	0	1	0	1
誤　報	1,286	60	101	104	130	148	151	190	141	105	58	42	56
携帯転送	100	14	7	11	9	5	17	6	11	8	4	3	5
一日平均	34.6	35.9	32.3	32.8	32.6	32.6	35.7	41.4	35.7	35.3	31.6	32.7	35.9

（単位：件）

４．予　防

１．防火対象物数

※　棟数（17項以外は150㎡未満の棟を除く。）

令和6.3.31現在

防火対象物＼地区別				合計	中央消防署				北消防署		
					国分	隼人	福山	溝辺	牧園	霧島	横川
合計				5,242	2,346	1,225	333	568	401	198	171
1	イ	劇場、映画館等		12	4		1	2	4		1
	ロ	公会堂又は集会場		27	13	7		2	3	1	1
2	イ	キャバレー、カフェー等		0							
	ロ	遊技場又はダンスホール		8	7	1					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗		0							
	ニ	カラオケボックス等		4	2	2					
3	イ	待合、料理店等		0							
	ロ	飲食店		120	68	28	4	9	3	7	1
4		百貨店、マーケット等		187	93	59	6	13	8	5	3
5	イ	旅館、ホテル等		109	18	20	1	8	41	20	1
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		1,501	830	476	21	85	39	21	29
6	イ	病院、診療所等	（１）	11	4	5	1		1		
			（２）	14	8	5		1			
			（３）	19	7	10	1			1	
			（４）	68	28	28	3	4	1	2	2
	ロ	養護老人ホーム等	（１）	77	24	24	2	9	5	8	5
			（２）	0							
			（３）	0							
			（４）	2	1		1				
			（５）	14	6	1	5		1	1	
	ハ	老人デイサービスセンター等	（１）	31	20	5	1	2		2	1
			（２）	0							
			（３）	77	40	15	6	8	4	2	2
			（４）	13	9	4					
			（５）	28	10	14		4			
	ニ	幼稚園、特別支援学校		16	4	2	8	1	1		
7		小、中、高、大学、専門学校等		233	91	63	18	17	23	10	11
8		図書館、美術館等		14	2	3	4	1		3	1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		0							
	ロ	(イ)以外の公衆浴場		33	8	12		1	9	2	1
10		車両の停車場等		9	4	2		3			
11		神社、寺院等		40	7	6	3	8	8	6	2
12	イ	工場又は作業場		590	229	88	55	110	43	31	34
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		0							
13	イ	自動車車庫又は駐車場		61	7	4	1	40	3	5	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		6				6			
14		倉庫		355	120	55	25	84	37	13	21
15		前各項に該当しない事業場		927	368	116	150	113	109	27	44
16	イ	特定複合用途対象物		312	157	68	5	21	34	21	6
	ロ	(イ)以外の複合用途対象物		322	157	101	11	16	24	9	4
17		重要文化財等		2		1				1	0

２．立入検査実施件数

※　棟数（17項以外は150㎡未満の棟を除く。）

令和6.3.31現在

防火対象物＼地区別				合計	中央消防署				北消防署		
					国分	隼人	福山	溝辺	牧園	霧島	横川
合計				593	150	60	79	62	84	100	58
1	イ	劇場、映画館等		5	1		1	1	1		1
	ロ	公会堂又は集会場		12	10	1			1		
2	イ	キャバレー、カフェー等		0							
	ロ	遊技場又はダンスホール		4	4						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗		0							
	ニ	カラオケボックス等		1		1					
3	イ	待合、料理店等		0							
	ロ	飲食店		67	31	2	1	7	3	17	6
4		百貨店、マーケット等		44	20	10	6	1	1	3	3
5	イ	旅館、ホテル等		48	9	3	1	4	19	11	1
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		22		1	12	3	4		2
6	イ	病院、診療所等	（１）	2	1				1		
			（２）	2	1	1					
			（３）	2	1					1	
			（４）	7	1		1		1	1	3
	ロ	養護老人ホーム等	（１）	24	1	14	2		2	4	1
			（２）	0							
			（３）	0							
			（４）	1			1				
			（５）	4			3			1	
	ハ	老人デイサービスセンター等	（１）	6		2	1			2	1
			（２）	0							
			（３）	15	7	3	1		1	1	2
			（４）	2	1	1					
			（５）	5	1	2				2	
	ニ	幼稚園、特別支援学校		1	1						
7		小、中、高、大学、専門学校等		17	1	3	2	4		4	3
8		図書館、美術館等		4			1			3	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		0							
	ロ	(イ)以外の公衆浴場		0							
10		車両の停車場等		2				2			
11		神社、寺院等		3					1	1	1
12	イ	工場又は作業場		64	1	1	13	21	10	12	6
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		0							
13	イ	自動車車庫又は駐車場		3				2			1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		0							
14		倉庫		14			4	2	1	1	6
15		前各項に該当しない事業場		55	8	4	13	3	11	9	7
16	イ	特定複合用途対象物		117	45	10	7	7	22	20	6
	ロ	(イ)以外の複合用途対象物		40	5	1	9	5	5	7	8
17		重要文化財等		0							

３．消防法第８条防火対象物数

※　防火管理者を必要とする防火対象物（消防法施行令第２条の取り扱いによること）

令和6.3.31現在

防火対象物＼地区別				合計	中央消防署				北消防署		
					国分	隼人	福山	溝辺	牧園	霧島	横川
合計				1,033	485	249	43	87	85	57	27
1	イ	劇場、映画館等		5	2		1	1	1		
	ロ	公会堂又は集会場		24	11	7		2	2	1	1
2	イ	キャバレー、カフェー等		0							
	ロ	遊技場又はダンスホール		6	5	1					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗		0							
	ニ	カラオケボックス等		4	2	2					
3	イ	待合、料理店等		0							
	ロ	飲食店		92	58	25	1	6		2	
4		百貨店、マーケット等		118	63	35	6	7	2	3	2
5	イ	旅館、ホテル等		54	10	8		5	21	9	1
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		90	55	18		11	1	1	4
6	イ	病院、診療所等	（１）	8	4	3			1		
			（２）	14	8	5	1				
			（３）	7	5	1				1	
			（４）	16	11	4	1				
	ロ	養護老人ホーム等	（１）	45	15	17	2	2	3	5	1
			（２）	0							
			（３）	0							
			（４）	0							
			（５）	2	1					1	
	ハ	老人デイサービスセンター等	（１）	22	12	6	1			2	1
			（２）	0							
			（３）	44	28	6	1	3	2	2	2
			（４）	4	3	1					
			（５）	5	2	3					
	ニ	幼稚園、特別支援学校		6	1	3	1		1		
7		小、中、高、大学、専門学校等		47	20	9	3	6	4	3	2
8		図書館、美術館等		7	2	2	1			2	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		0							
	ロ	(イ)以外の公衆浴場		16	5	9			1	1	
10		車両の停車場等		1				1			
11		神社、寺院等		16	4	4	2	3	2	1	
12	イ	工場又は作業場		30	13	9	1	3	1	1	2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		0							
13	イ	自動車車庫又は駐車場		0							
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		0							
14		倉庫		3		1		2			
15		前各項に該当しない事業場		107	40	24	11	11	11	5	5
16	イ	特定複合用途対象物		202	90	39	7	20	28	15	3
	ロ	(イ)以外の複合用途対象物		36	15	6	3	4	4	1	3
17		重要文化財等		2		1				1	

４．中高層防火対象物調べ(棟数)

令和6.3.31現在

別表区分				防火対象物件数 合計 3	4	5	6	7	8以上	計	国分 3	4	5	6	7	8以上	計	隼人 3	4	5	6	7	8以上	計	福山 3	4	5	6	7	8以上	計	溝辺 3	4	5	6	7	8以上	計	牧園 3	4	5	6	7	8以上	計	霧島 3	4	5	6	7	8以上	計	横川 3	4	5	6	7	8以上	計
1	イ	劇場･映画館等		2						2	1						1																						1						1														
	ロ	公会堂又は集会場		4						4	1						1	1						1								1						1	1						1														
2	イ	キャバレー･カフェー等																																																								
	ロ	遊技場又はダンスホール		2						2	1						1																						1						1														
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗																																																							
	ニ	カラオケボックス等																																																							
3	イ	待合･料理店等																																																							
	ロ	飲食店		8	1	1	1			11	8	1	1	1			11																																										
4		百貨店･マーケット等		5	1					6	5	1					6																																										
5	イ	旅館･ホテル等		14	10	5	2	3	8	42	2	2			1	4	9	5	2					7									1			1	2	5	6	3	2	2	2	20	2		1			1	4							
	ロ	寄宿舎･下宿･共同住宅		309	234	57	9	8	28	645	168	127	45	6	6	23	375	104	72	7	3	1	3	190	13	2					15	9	14	2		1	1	27	9		3				12	4					1	5	2	19					21
6	イ	病院･診療所等	(1)	3		4	1			8			2	1			3	2		1				3			1				1							1						1														
			(2)	1	3					4		2					2	1	1					2																																		
			(3)	8	2	1				11	3	1	1				5	4						4	1						1																				1						1		
			(4)	11						11	4						4	4						4	1						1							1						1												1		1
	ロ	養護老人ホーム等	(1)	7		1				8	2		1				3	3						3	1						1																				1						1		
			(2)																																																								
			(3)																																																							
			(4)	1						1															1							1																										
			(5)	2	1					3															2	1						3																										
	ハ	老人デイサービスセンター等	(1)	3						3	2						2								1							1																										
			(2)																																																							
			(3)	4						4	4						4																																										
			(4)																																																							
			(5)	3						3	3						3																																										
	ニ	幼稚園・特別支援学校等																																																								
7		小・中・高・大学・専門学校等		64	8	6		1		79	29	4	5		1		39	18	3	1				22	4						4	4						4	4	1					5	2					2	3						3
8		図書館･美術館等		1						1	1						1																																											
9	イ	蒸気浴場･熱気浴場等																																																								
	ロ	（イ）以外の公衆浴場																																																							
10		車両の停車場等		1		1				2																					1		1				2																			
11		神社･寺院等																																																							
12	イ	工場又は作業場		23	6	4	9	1		43	10	3	4	8	1		26	2	3		1			6	3						3	4						4	2						2							2						2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ																																																						
13	イ	自動車車庫又は駐車場		1						1	1						1																																										
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		1						1																					1							1																		
14		倉庫		5	2					7	3	2					5	2						2																																			
15		前各項に該当しない事業場		44	10	4	2	2	2	64	24	8	1	2	1	1	37	3	1	1				5	4		1				5	7	1	1				9	5						5	1			1	1	3					
16	イ	特定複合用途防火対象物		34	10	5	4	2	5	60	21	7	5	4	2	2	41	8	2				1	11							1	1						1	3						2	5	2					2					
	ロ	（イ）以外の複合用途防火対象物		45	8	9	4	1	1	68	25	6	8	2		1	42	9	1	1	2	1		14							4	1						5	4						4	3					3					
17		重要文化財等																																																						
合計				606	296	98	32	18	44	1,094	318	164	73	24	12	31	622	166	85	11	6	2	4	274	31	3	2				36	31	17	5		1	2	56	37	7	6	2	2	4	58	15	1	1		1	3	21	8	19					27

５．危険物施設許可状況

令和5．4．1～令和6.3.31

区分 / 施設区分	許可		完成検査		廃止
	設置	変更	設置	変更	
屋外タンク貯蔵所	1		2		4
地下タンク貯蔵所	1	2		1	3
屋内貯蔵所	1	2	2	1	
給油取扱所		7		6	3
一般取扱所	3	8	1	8	3
屋外貯蔵所					
第一種販売取扱所					
第二種販売取扱所					
移動タンク貯蔵所	2	3	2	3	2
屋内タンク貯蔵所					
計	8	22	7	19	15

６．数量別危険物施設状況

令和6.3.31現在

施設区分 / 数量別	計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	移動タンク貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	第二種販売取扱所	第一種販売取扱所
５倍以下	128		14	23	2	33		1	24	4	26		1
５倍をこえ10倍以下	71		6	29	2	16			3	6	9		
10倍をこえ50倍以下	82		8	11	2	11			14	23	12		1
50倍をこえ100倍以下	21		2	1		3			1	13	1		
100倍をこえ150倍以下	14		2							11	1		
150倍をこえ200倍以下	17		1							15	1		
200倍をこえるもの	25		1	4		2				16	2		
計	358		34	68	6	65		1	42	88	52		2

５．火　災

１．火災の概況

令和５年中の火災件数は 44 件で、前年より増加となりました。火災種別は建物火災が火災全体の 63 パーセントを占め、出火原因としては 16 パーセントの原因が『たき火』となっております。死者、負傷者は減少傾向となっております。

項目＼年	令和４年	令和５年
(1)総出火件数	41 件	44 件
(2)火災件数内訳	建　物　21 件	建　物　28 件
	林　野　4 件	林　野　4 件
	車両(船)　6 件	車両(船)　2 件
	その他　10 件	その他　10 件
(3)損害額	113,700 千円	85,217 千円
(4)死傷者数	死　者　1 名	死　者　0 名
	負 傷 者　9 名	負 傷 者　7 名
(5)り災世帯数	14 世帯	19 世帯
(6)り災人員	29 人	34 人
(7)焼損面積	建　物　693 ㎡	建　物　1,091 ㎡
	林　野　6 a	林　野　5 a
(8)出火原因	1 位　たき火　12 件	1 位　たき火　7 件
	2 位　電気機器・こんろ　各 3 件	2 位　こんろ　4 件
	3 位　排気管・配線器具　各 3 件	3 位　排気ダクト（その他 9 件中）　3 件
(9)一日あたりの出火件数	0.11 件	0.12 件
(10)住民一人あたりの損害額	912 円	682 円
(11)一日あたりの損害額	332 千円	233 千円
(12)火災 1 件あたりの損害額	2,773 千円	1,937 千円

２．月別・曜日別火災発生状況

令和５年１月　～　令和５年12月分

	火災件数							焼損棟数				り災世帯数			り災人員	死者	負傷者	焼損面積等							損害額（千円）								
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損				建物床面積（㎡）	建物表面積（㎡）	林野（a）	車両（台）	船舶（隻）	航空機（機）	その他	総額	建物	収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
合　　計	44	28	4	2	0	0	10	17	0	7	29	4	1	14	34	0	7	1,091	204	5	4	0	0	0	85,217	59,582	24,482	113	229	0	0	811	0
1月	10	6	2				2	5		2	6	1		3	6		2	32	3	5	1				21,936	2,713	18,583	113	8			519	
2月	2	1					1				1														311		45					266	
3月	3	1					2				1			1	3										1	1							
4月	3	2					1	1		1	1	1		1	5		1	303							6,411	5,615	796						
5月	3	3						1			3			1	3			57							1,859	254	1,605						
6月	4	3					1				3			1	2										160	87	70					3	
7月	1	1						1		2	1		1		1			80	68						2,786	2,655	131						
8月	4	2					2	1			1			1	1		1	11							147	92	55						
9月	2	1		1							1										1				144	14			130				
10月	5	3		1			1	2		1	4	1		2	4			342	21		2				45,255	44,039	1,102		91			23	
11月	3	2	1					5			1			1	1		2	167							1,998	1,814	184						
12月	4	3	1					1		1	6	1		3	8		1	99	112						4,209	2,298	1,911						
日曜日	7	3	2				2			2	1			1	3			191	112	5					3,204	1,254	1,834	113				3	
月曜日	5	5						1		1	4	1		4	8		2	181	1						34,394	33,497	897						
火曜日	5	1					4				1						1								356		70					286	
水曜日	7	6		1				6		1	3	1		1	3		1	333	2		1				21,058	7,423	13,550		82			3	
木曜日	7	5					2	3			8	1		5	13			167			1				4,088	1,855	1,706		8			519	
金曜日	4	3					1	1		2	3		1		1			80	68						2,871	2,721	150						
土曜日	9	5	2	1			1	6		1	9	1		3	6		3	139	21		2				19,246	12,832	6,275		139				

３．出火時間別火災発生状況

令和５年１月　～　令和５年12月分

時間帯	火災件数							焼損棟数				り災世帯数			り災人員	死者	負傷者	焼損面積等							損害額（千円）								
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損				建物床面積（㎡）	建物表面積（㎡）	林野（a）	車両（台）	船舶（隻）	航空機（機）	その他	総額	建物	収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
0　～　1	3	3						6			5			3	4			274	21		1				12,471	11,902	560		9				
1　～　2																																	
2　～　3																																	
3　～　4																																	
4　～　5																																	
5　～　6																																	
6　～　7																																	
7　～　8	2	2						1			6	1		3	8			99							1,492	1,427	65						
8　～　9																																	
9　～　10	1			1																	1				130				130				
10～11	1	1									1			1	1										13	13							
11～12	5	3					2			1	2			1	2		1		2						132	63	49					20	
12～13	3		1				2										1			1													
13～14	2	1	1					5		1	2	1			2			32							8,461	2,588	5,873						
14～15	4	2		1			1	2			1			1	3			68			1				1,990	267	1,641		82				
15～16	5	2	2				1	1			1	1			1		2	166		4					6,406	5,624	666	113				3	
16～17	5	2					3			1	1			1	1				112						3,059	949	1,841					269	
17～18	1	1								1								69							28,347	28,249	98						
18～19	4	3					1				3						1				1				13,271	74	12,670		8			519	
19～20	1	1									1			1	2										87	87							
20～21	1	1									1														85	66	19						
21～22	1	1									1			1	3										1	1							
22～23	2	2						1		2	2		1	1	2		1	80	69						2,791	2,657	134						
23～24	3	3						1		1	2	1		1	5		1	303							6,481	5,615	866						
合計	44	28	4	2	0	0	10	17	0	7	29	4	1	14	34	0	7	1,091	204	5	4	0	0	0	85,217	59,582	24,482	113	229	0	0	811	0

４．原因別火災発生状況

令和５年１月　～　令和５年12月分

	火災件数							焼損棟数				り災世帯数			り災人員	死者	負傷者	焼損面積等							損害額（千円）								
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損				建物床面積（㎡）	建物表面積（㎡）	林野（ａ）	車両（台）	船舶（隻）	航空機（機）	その他	総額	建物	収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
たばこ	2	1					1				1			1	1						1				672	138	7		8			519	
こんろ	4	3					1				3			3	4		2		1						92	89	3						
かまど	0																																
風呂かまど	1	1								1				1	2		1		2						112	63	49						
炉	1	1									1														12,658		12,658						
焼却炉	0																																
ストーブ	1	1									1						1								12		12						
こたつ	0																																
ボイラー	0																																
煙突・煙道	0																																
排気管	2			1			1														1				348				82			266	
電気機器	1	1									1														45		45						
電気装置	0																																
電灯・電話等の配線	2	1					1				1			1	1										16	13						3	
内燃機関	0																																
配線器具	1	1						5										167							1,913	1,736	177						
火あそび	0																																
マッチ・ライター	0																																
たき火	7	1	2				4			1									112	5					2,818	871	1,834	113					
溶接機・溶断機	0																																
灯火	0																																
衝突の火花	0																																
取灰	1	1									1			1	3										1	1							
火入れ	0																																
放火	2	2								1	1							191							452	382	70						
放火の疑い	1	1								1								69							28,347	28,249	98						
その他	9	7	1				1	7		1	6	2			3			209							14,948	8,357	6,568					23	
不明・調査中	9	6	1	1			1	5		2	13	2	1	7	20		3	455	89		2				22,783	19,683	2,961		139				
合計	44	28	4	2	0	0	10	17	0	7	29	4	1	14	34	0	7	1,091	204	5	4	0	0	0	85,217	59,582	24,482	113	229	0	0	811	0

５．地区別火災発生状況

令和５年１月　～　令和５年12月分

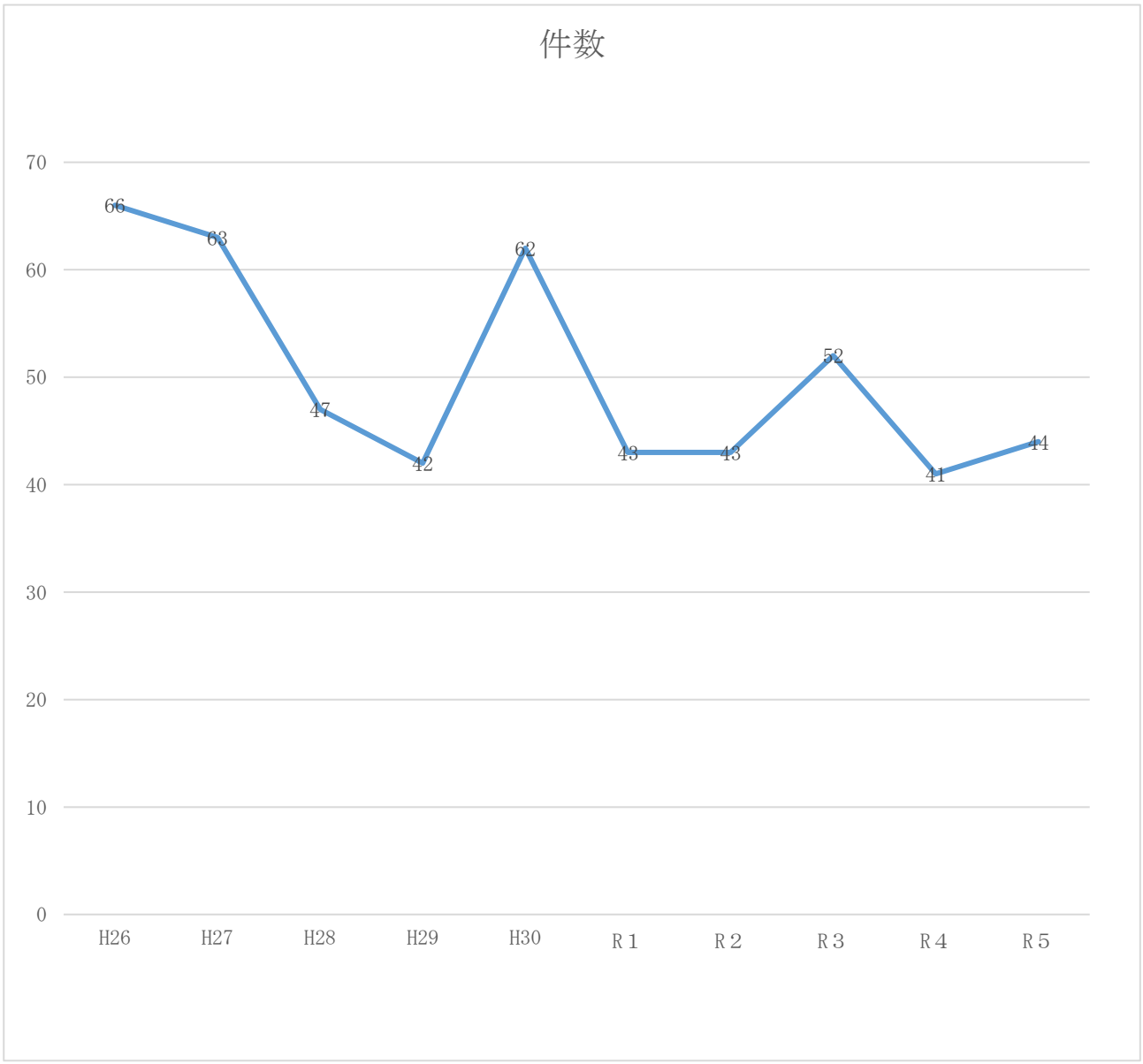
	火災件数							焼損棟数				り災世帯数			り災人員	死者	負傷者	焼損面積等							損害額（千円）								
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損				建物床面積（㎡）	建物表面積（㎡）	林野（a）	車両（台）	船舶（隻）	航空機（機）	その他	総額	建物	収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
国分	15	13	1				1	3		1	16	2		7	19		3	268	2	1					22,259	7,004	15,255						
隼人	9	5					4	5			4			3	3		1	167	1		1				2,921	1,876	232		8			805	
福山	2	1	1							1							2		112						2,705	871	1,834						
牧園	6	2	2				2	6		1	2	1			2		1	43		4					8,711	2,667	5,928	113				3	
霧島	4	2					2			2								260							28,729	28,631	98						
溝辺	5	3		1			1	2		2	2	1	1	1	4			246	68		1				9,203	8,366	752		82			3	
横川	3	2		1				1			5			3	6			107	21		2				10,689	10,167	383		139				
その他	0																															
合計	44	28	4	2	0	0	10	17	0	7	29	4	1	14	34	0	7	1,091	204	5	4	0	0	0	85,217	59,582	24,482	113	229	0	0	811	0

６．地区別・月別火災発生状況

令和５年１月　～　令和５年12月分

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
国分	4			1	3	2		2	1			2	15
隼人	3	2		1						1	2		9
福山											1	1	2
牧園	2					1		2				1	6
霧島			2	1						1			4
溝辺	1					1	1			2			5
横川			1						1	1			3
その他													0
合計	10	2	3	3	3	4	1	4	2	5	3	4	44

7．過去 10 年間の火災件数の推移



６．救急救助

１．　救急概要

令和５年中の救急出動件数は7,828件、搬送人員は7,168人で前年に比べて出動件数は599件の増加、搬送人員は504人の増加となりました。

1	出場件数	7,828件
2	不搬送件数	713件
3	搬送人員	7,168人
4	一日あたりの平均出場件数	21.45件
5	一日あたりの平均搬送人員	19.64人
6	出場件数の最も多かった月	７月　（800件）
7	出場件数の最も少なかった月	２月　（523件）
8	出場件数の最も多かった曜日	月曜日　（1,198件）
9	出場件数の最も少なかった曜日	木曜日　（1007件）
10	出場件数の最も多かった時間帯	10：00～12：00　（965件）
11	出場件数の最も少なかった時間帯	4：00～6：00　（238件）
12	最も出場の多かった事故種別	急　病　（4,786件）

２．　月別救急出動状況

（令和５年１月～12月）

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	計
1月	3		1	55	4	2	81	1	4	483	118	752
2月				32	5		79		6	309	92	523
3月				33	2	4	82	3	4	370	107	605
4月	1		1	45	1	4	91	1	4	332	94	574
5月	2			39	1		86	2	6	370	94	600
6月			2	37	3	1	87	1	9	369	95	604
7月				39	7	4	106	3	16	487	138	800
8月	3		1	56	6	1	95	2	9	450	101	724
9月	2			28	3	8	105	1	2	438	93	680
10月			2	49	7	13	106		10	344	89	620
11月	1			34	4		92		4	388	88	611
12月	3			55	1	2	104	2	5	446	117	735
計	15	0	7	502	44	39	1,114	16	79	4,786	1,226	7,828

（単位：件）

３．　過去５年間の救急出動状況

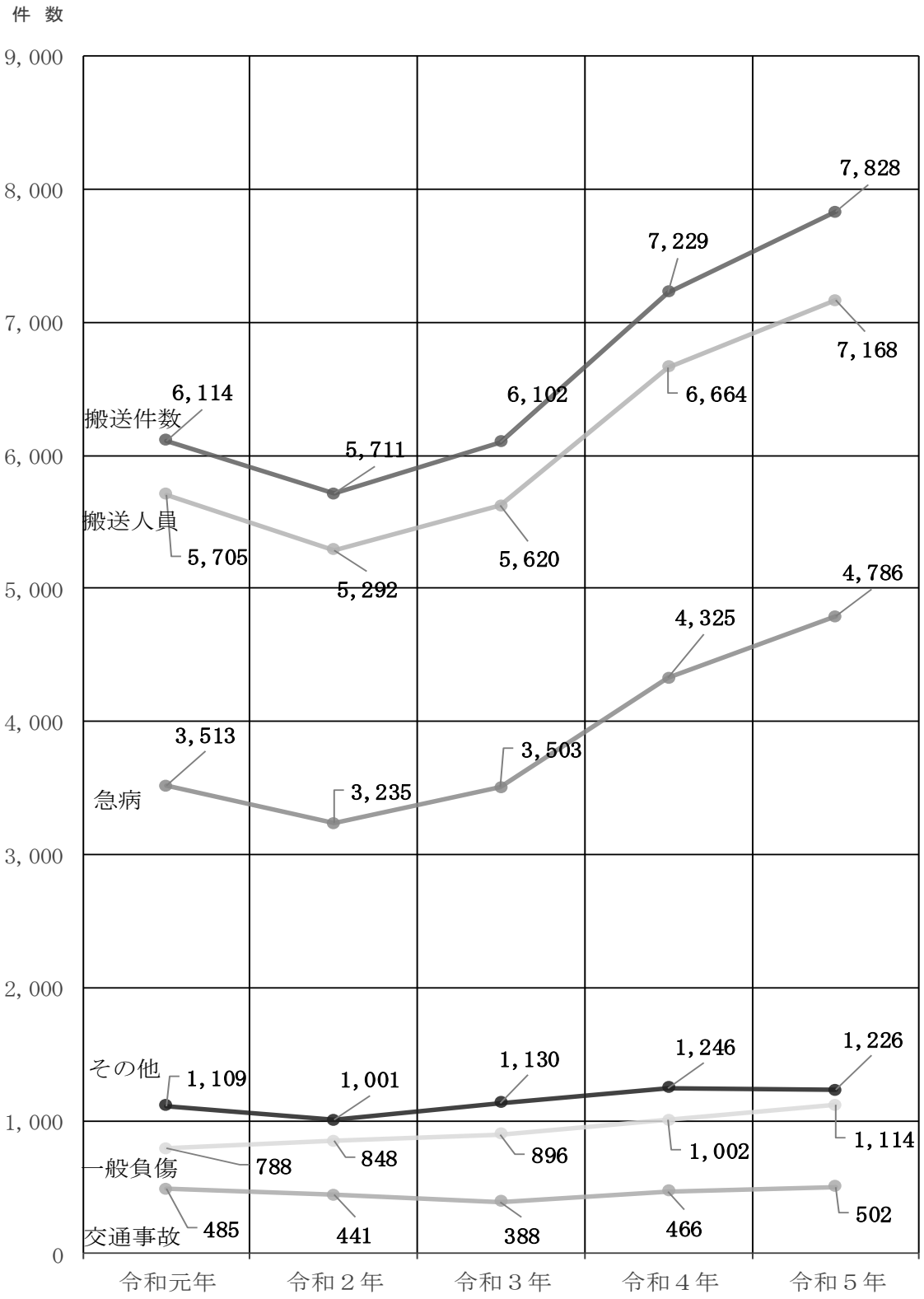
（令和元年～令和５年）

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	計
令和元年	8		7	485	62	62	788	15	65	3,513	1,109	6,114
令和２年	11	1	6	441	60	30	848	12	66	3,235	1,001	5,711
令和３年	11		6	388	46	30	896	21	71	3,503	1,130	6,102
令和４年	15	1	1	466	65	29	1,002	22	57	4,325	1,246	7,229
令和５年	15		7	502	44	39	1,114	16	79	4,786	1,226	7,828

（単位：件）

４．　過去５年間における救急出動件数

（令和元年～令和５年）



５．　曜日別救急出動状況

（令和５年１月～12月）

種別／曜日	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	計
日	1		1	63	4	9	210	3	18	715	95	1,119
月	2		1	77	5	5	139		9	738	222	1,198
火	1			83	6	4	149	6	13	720	186	1,168
水	2		3	60	3	2	171	1	13	665	204	1,124
木	4			75	6	3	135	5	8	594	177	1,007
金	1		2	69	9	7	142		8	654	199	1,091
土	4			75	11	9	168	1	10	700	143	1,121
計	15	0	7	502	44	39	1,114	16	79	4,786	1,226	7,828

（単位：件）

６．　時間別救急出動状況

（令和５年１月～12月）

種別／時間	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	計
0-2				9	1		34	3	7	281	30	365
2-4				5			19	1	4	194	24	247
4-6				4			28		2	194	10	238
6-8	2		1	52	2		78	1	10	365	19	530
8-10	1			67	5	4	160	1	5	530	166	939
10-12	2			65	6	6	135		5	496	250	965
12-14	2		2	59	7	6	122	3	2	495	253	951
14-16	2		2	64	11	11	116		4	475	181	866
16-18	2		1	71	10	6	137		12	498	131	868
18-20	1		1	58		3	127	2	9	463	76	740
20-22	1			35	1	3	88	1	9	450	53	641
22-24	2			13	1		70	4	10	345	33	478
計	15	0	7	502	44	39	1,114	16	79	4,786	1,226	7,828

（単位：件）

７．　傷病程度別・年齢区分別救急搬送人員

（令和５年１月～12月）

	合計	傷病程度別					年齢区分				
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	新生児	乳幼児	少年	成人	老人
合計	7,168	118	511	3,413	3,126	0	23	337	300	2,131	4,377
火災	5		2	1	2					4	1
自然	0										
水難	3			2	1					2	1
交通	443	1	21	82	339			7	43	248	145
労災	46	1	6	12	27					38	8
運動	40		1	8	31				28	11	1
一般	1,023	9	122	357	535			77	28	182	736
加害	11	1		1	9					9	2
自損	60	5	5	30	20				2	49	9
急病	4,379	101	285	1,849	2,144		2	235	181	1,295	2,666
その他	1,158		69	1,071	18		21	18	18	293	808

（単位：人）

８．　管内・管外収容状況

（令和５年１月～12月）

	合計	管内	管外				
			鹿児島市	姶良市	都城市	鹿屋市	その他
搬送人員	7,168 人	6,253 人	519 人	357 人	11 人	7 人	21 人
比率	100 %	87.2 %	7.2 %	5.0 %	0.2 %	0.1 %	0.3 %

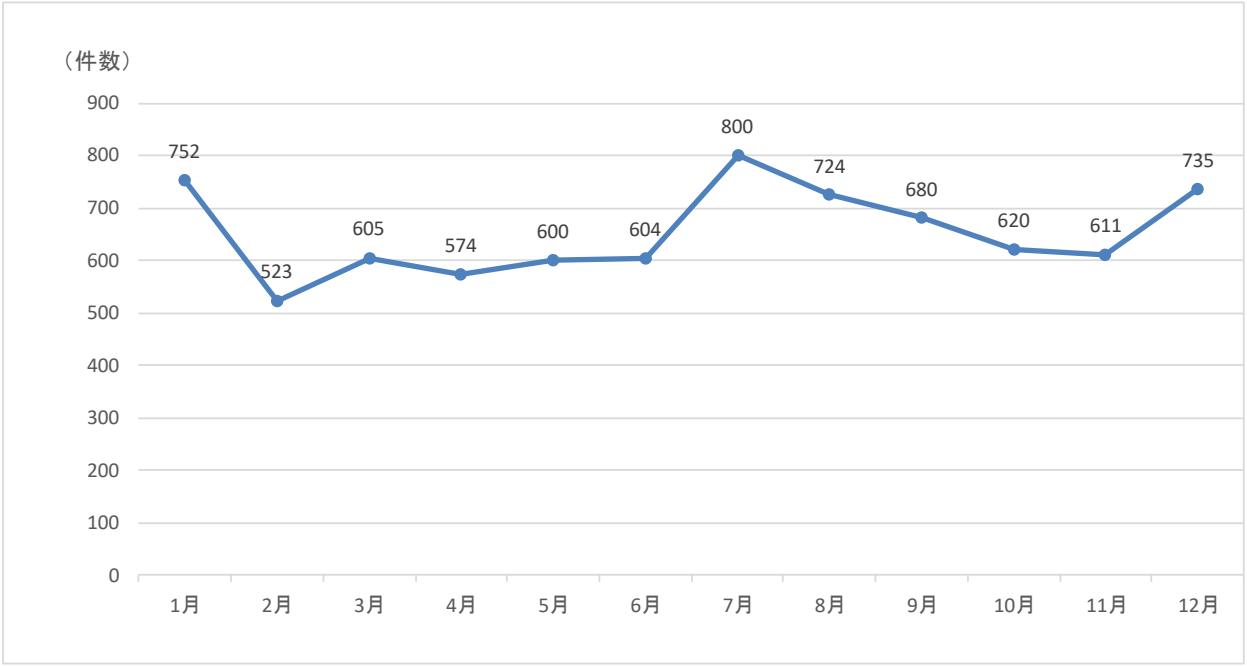
９．　署所別救急搬送状況

（令和５年１月～12月）

		合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	不搬送
合計	出動件数（件）	7,828	15	0	7	502	44	39	1,114	16	79	4,786	1,226	0
	搬送人員（人）	7,168	5	0	3	443	46	40	1,023	11	60	4,379	1,158	660
本部	出動件数（件）	9				1			2			3	3	
	搬送人員（人）	9				1			2			3	3	
中央	出動件数（件）	4,309	7		6	279	13	20	584	10	52	2,604	734	
	搬送人員（人）	3,984	3		3	247	15	20	547	7	37	2,399	706	325
隼人	出動件数（件）	1,314	5		1	90	7	6	161	5	12	746	281	
	搬送人員（人）	1,194				73	7	6	149	3	10	674	272	120
福山	出動件数（件）	424				29	3		63		5	290	34	
	搬送人員（人）	387				26	3		58		3	268	29	37
溝辺	出動件数（件）	562	1			35	5	3	91	1	3	351	72	
	搬送人員（人）	489	1			33	5	3	73	1	3	310	60	73
北	出動件数（件）	387	1			22	4	5	59		1	250	45	
	搬送人員（人）	349	1			13	4	5	54		1	230	41	38
霧島	出動件数（件）	409				29	4	4	67		3	263	39	
	搬送人員（人）	369				33	4	4	59		3	236	30	40
横川	出動件数（件）	414	1			17	8	1	87		3	279	18	
	搬送人員（人）	387				17	8	2	81		3	259	17	27

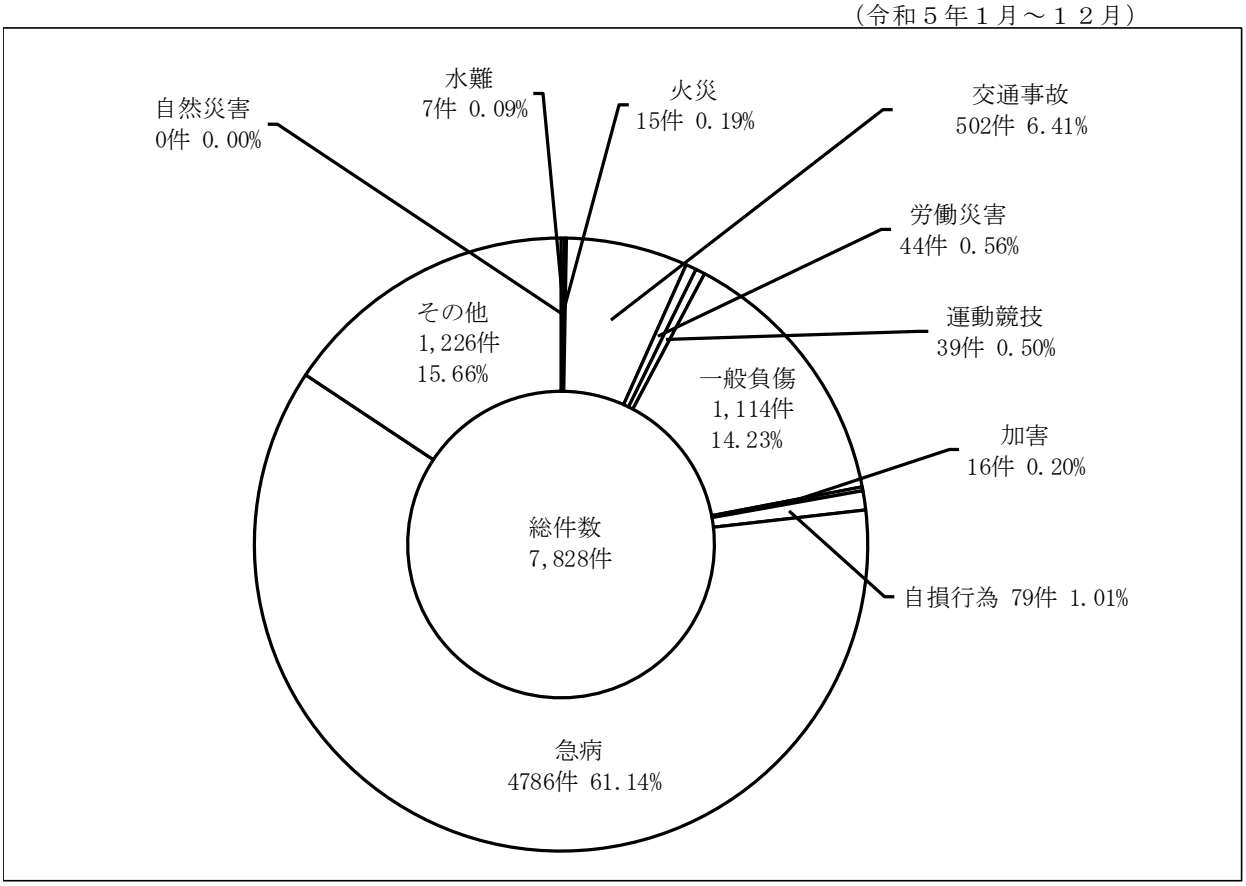
１０．月別救急出動比較

（令和５年１月～１２月）



１１．事故種別発生比較

（令和５年１月～１２月）



１２．月別応急手当の普及啓発活動状況

（令和５年１月～12月）

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
応急手当（人）	467	42	79	124	502	665	373	247	65	172	280	90	3,106
普通救命（人）	88	74	130	56	79	129	185	82	99	134	107	79	1,242

年別	H7～28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	合計
応急手当（人）	101,062	7,971	7,521	7,918	1,949	1,321	2,028	3,106	132,876
普通救命（人）	18,129	921	878	1,126	324	615	690	1,242	23,925

１３．事故種別救助出動及び活動の状況

（令和５年１月～12月）

	出動件数	出動人員	活動件数	救助人員
合計	100	1207	43	47
火災建物	2	34	2	2
火災建物以外	1	15	1	1
交通事故	40	504	15	16
水難事故	5	87	3	4
自然災害				
機械による事故	4	41	1	1
建物等による事故	13	117	7	7
ガス及び酸欠事故	3	48	1	2
爆発事故				
その他の事故	32	361	13	14

「出動人員」とは、救助活動を行うために出動した全ての人員をいう。

１４．救助出動における事故種別及び発生場所別救助人員

（令和５年１月～12月）

事故種別 / 発生場所	火災	交通	水難	自然	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発	その他	合計
住居	2					5	2		1	10
その他の屋内					1				2	3
高速道路										0
その他の道路		13								13
内水面		2	3						3	8
外水面			1							1
山岳									3	3
その他の屋外	1	1				2			5	11
地下										0
その他										0
合計	3	16	4	0	1	7	2	0	14	47

本表において「火災」とは救助隊および消防隊が出動した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

１５．事故種別救助出動及び活動の状況（過去５年）

（令和元年～令和５年）

区分＼事故種別		合計	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故
			建物	建物以外								
令和元年	出動件数	71			33	7	2	5				24
	出動人員	926			480	113	23	45				265
	活動件数	36			14	4	1	2				15
	救助人員	40			18	2	3	2				15
令和２年	出動件数	68			29	6			5	1		27
	出動人員	792			363	82			32	33		282
	活動件数	43			20	4			5	1		13
	救助人員	46			23	4			6	1		12
令和３年	出動件数	56	1		25	5			3			22
	出動人員	325	22		94	57			19			133
	活動件数	31	1		9	4			3			14
	救助人員	28	1		8	4			3			12
令和４年	出動件数	64			38	1		1	4			20
	出動人員	704			432	14		9	28			221
	活動件数	33			21				2			10
	救助人員	34			21				3			10
令和５年	出動件数	100	2	1	40	5		4	13	3		32
	出動人員	1,191	34	15	504	87		41	117	48		345
	活動件数	42	2	1	14	3		1	7	1		13
	救助人員	47	2	1	16	4		1	7	2		14

（出動件数、活動件数：件）

（出動人員、救助人員：人）

７．消防団

1．消防団現勢

令和6.3.31現在

区分 / 地区別	人員		機械					
	定数	実員	ポンプ自動車	小型動力ポンプ	積載車	本部指揮車		広報車
合計（A）＋（B）	1,236	1109（30）	34	57	57	1		1
団本部	方面隊から選出	3	団長１名,副団長２名			1		
女性消防隊	方面隊に属する		方面隊の女性団員で組織する。					1
機能別 無線通信班		8	無線従事者で組織し、通信手段の不備を解消する。					
機能別 海難捜索班		13	船舶等所有者で組織し、水難事故等に活動する。					
機能別 特別消防班		14	消防知識を有する者で構成し、大災害時の補助を行う。					
計（A）		38				1	0	1
国分方面隊	320	299（14）	7	14	14			
隼人方面隊	240	223（4）	10	9	9			
霧島方面隊	100	89	4	4	4			
牧園方面隊	188	158	5	9	9			
福山方面隊	152	119（11）	2	7	7			
溝辺方面隊	124	111（1）	4	5	5			
横川方面隊	112	72	2	9	9			
計（B）	1,236	1071（30）	34	57	57			

※　（　　）内は女性消防団員数。

※　機能別消防団員は団本部に属し、霧島市消防団条例定数内で運用される。

2．消防団員の階級別配置状況

令和6.3.31現在

区分 / 地区別	合計	本部				方面隊						
		団長	副団長	班長団員	計	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長団員	計
計	1,109	1	2	35	38	7	9	36	36	72	911	1,071
国分	300	1			1	1	2	7	7	20	262	299
隼人	224		1		1	1	2	6	6	17	191	223
霧島	89					1	1	4	4	4	75	89
牧園	158					1	1	6	6	9	135	158
福山	119					1	1	4	4	9	100	119
溝辺	111					1	1	4	4	5	96	111
横川	73		1		1	1	1	5	5	8	52	72
機能別 無線	8			8	8							
機能別 海難	13			13	13							
機能別 特消	14			14	14							

３．消防団幹部一覧表

令和6.3.31現在

本　部	団　　長	東郷　喜八	副団長	下津曲　勝 折田　正幹

地区別	方面隊長	副方面隊長	分団	長
国　分	藏元　時光	中村　親雄 有村　益男	第　一	川　田　正　雄
			第　二	樗　木　健　二
			第　三	長　野　博　文
			第　四	上　平　熊　悟
			第　五	大久保　順正
			第　六	中　村　広　文
			第　七	永　野　明
隼　人	森　悟	荒瀬　博文 松元　洋一	小　野　浜	福　永　好　高
			富　隈	若　松　靖　典
			中　央	海江田　俊一
			日当山第一	徳　吉　敏　郎
			日当山第二	野　間　隆
			嘉　例　川	竹　下　輝　雄
霧　島	小谷　幸男	岩崎　学	霧　島	徳　田　満　幸
			田　口	山　田　久　治
			中　央	山　口　円
			永　水	松　田　俊　則
牧　園	安樂　雄二	井下　信賢	牧　園	徳　永　健　治
			高　千　穂	廣　山　博　典
			中　津　川	矢　野　孝　一
			万　膳	山　下　弘
			三　体	川　口　輝　行
			持　松	荒　木　亨
福　山	瀬戸　正一	川﨑　潤	第　一	原　田　幸　治
			第　二	西　山　良　成
			第　三	川　畑　則　雄
			第　四	前　原　邦　征
溝　辺	重森　忠	坂留　輝幸	中　央	三　縄　香　美
			竹　子	剥　岩　拓　一
			麓	満　塩　正　信
			崎　森	植　木　光　明
横　川	原口　忍	大住　敏和	中央第一	鮫　島　浩　司
			中央第二	印　口　靖　浩
			佐々木	永　吉　芳　信
			安　良	新　川　誠
			山ヶ野	壹　岐　良　巳

４．消防団員の在籍年数

令和6.3.31現在

区分／地区別	合計	０年～５年未満	５年以上～１０年未満	１０年以上～１５年未満	１５年以上～２０年未満	２０年以上～２５年未満	２５年以上
団本部	38	16	11	8	0	0	3
国分	299	53	60	34	45	33	74
隼人	223	47	33	29	25	23	66
霧島	89	14	17	14	10	10	24
牧園	158	32	19	20	21	19	47
福山	119	17	19	17	21	18	27
溝辺	111	39	24	18	18	7	5
横川	72	13	9	8	16	19	7
合計	1,109	231	192	148	156	129	253

５．消防団出動状況

令和6.3.31現在

区分／地区別	合計		火災		風水害		演習・訓練		特別警戒		遭難・捜索		その他	
	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員
国分	35	1,172	7	78	2	6	6	373	1	251	2	26	17	438
隼人	41	1,215	5	67	2	64	9	484	4	208	3	74	18	318
霧島	27	478	1	45	0	0	9	232	2	64	0	0	15	137
牧園	32	771	2	10	0	0	7	340	3	147	4	59	16	215
福山	28	650	2	84	0	0	8	262	2	98	0	0	16	206
溝辺	27	586	2	68	0	0	8	260	1	89	0	0	16	169
横川	24	454	1	38	0	0	6	202	2	70	0	0	15	144
団本部	18	48	0	0	0	0	4	10	0	0	0	0	14	38
女性消防隊	27	148	0	0	0	0	2	5	1	11	0	0	24	132
合計	259	5,522	20	390	4	70	59	2,168	16	938	9	159	151	1,797

６．消防団員の報酬（年額）

（単位：円）令和6.3.31現在

区分	団　長	副団長	方面隊長	方　面 副隊長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
報酬額	185,300	177,300	174,600	128,000	93,000	70,500	64,800	53,800	49,000

７．消防団員の諸手当支給状況

令和6.3.31現在

区分	大規模災害	災害出動手当	訓練等	会議・研修等	機関員手当
支給額	8,000円/１日	5,000円/１回	4,000/１回	4,000/１回	36,000円/年額

（注）機関員手当については、各消防団車両の正・副機関員に支給。

８．本部・各方面隊別階級及び配置状況（団本部、国分、隼人）

令和6.3.31現在

地区別＼区分		団長	副団長	方面隊長	方面副隊長	部　長	班　長 及び団員	計
団本部	本　　部	1	2	(7)	(9)			3 (16)
	機能別 無線通信班						8	8
	機能別 海難捜索班						13	13
	機能別 特別消防班						14	14
	女　　性 消 防 隊					(1)	(27)	(28)
計		1	2	(7)	(9)	(1)	35 (27)	38 (44)

※（　）内は方面隊に属し、本部での活動がある。　　（単位：人）

地区別＼区分		方面隊長	副隊長	分団長	副分団長	部　長	班　長 及び団員	計
国分方面隊	本　　部	1	2				14(14)	17 (14)
	第一分団			1	1	4	45	51
	第二分団			1	1	3	41	46
	第三分団			1	1	3	31	36
	第四分団			1	1	3	39	44
	第五分団			1	1	2	24	28
	第六分団			1	1	3	32	37
	第七分団			1	1	2	36	40
計		1	2	7	7	20	262 (14)	299 (14)
隼人方面隊	本　　部	1	2				4 (4)	7 (4)
	小野浜分団			1	1	3	26	31
	富隈分団			1	1	5	45	52
	中央分団			1	1	2	22	26
	日当山 第一分団			1	1	2	31	35
	日当山 第二分団			1	1	2	34	38
	嘉例川分団			1	1	3	29	34
計		1	2	5	6	17	192 (4)	223 (4)

※　（　）内は女性消防団員数　　（単位：人）

８．本部・各方面隊別階級及び配置状況（霧島、牧園、福山）

令和6.3.31現在

地区別＼区分		方面隊長	副隊長	分団長	副分団長	部　長	班　長 及び団員	計
霧島方面隊	本　部	1	1					2
	霧島分団			1	1	1	20	23
	田口分団			1	1	1	20	23
	中央分団			1	1	1	18	21
	永水分団			1	1	1	17	20
計		1	1	4	4	4	75	89
牧園方面隊	本　部	1	1					2
	牧園分団			1	1	2	25	29
	高千穂分団			1	1	1	21	24
	中津川分団			1	1	3	37	42
	万膳分団			1	1	1	17	20
	三体分団			1	1	1	17	20
	持松分団			1	1	1	18	21
計		1	1	6	6	9	135	158
福山方面隊	本　部	1	1			1(1)	10(10)	13（11）
	第一分団			1	1	3	32	37
	第二分団			1	1	2	20	24
	第三分団			1	1	2	18	22
	第四分団			1	1	1	20	23
計		1	1	4	4	9（1）	99（10）	119（11）

※　（　）内は女性消防団員数　　（単位：人）

８．本部・各方面隊別階級及び配置状況（溝辺、横川）

令和6.3.31現在

地区別＼区分		方面隊長	副隊長	分団長	副分団長	部　長	班　長 及び団員	計
溝辺方面隊	本　部	1	1				1（1）	3（1）
	中央分団			1	1	2	36	40
	竹子分団			1	1	1	23	26
	麓 分 団			1	1	1	23	26
	崎森分団			1	1	1	13	16
計		1	1	4	4	5	96（1）	111（1）
横川方面隊	本　部	1	1					2
	中央第一分団			1	1	1	12	15
	中央第二分団			1	1	1	11	14
	佐々木分団			1	1	2	7	11
	安良分団			1	1	2	15	19
	山ヶ野分団			1	1	2	7	11
計		1	1	5	5	8	52	72

※　（　）内は女性消防団員数　　（単位：人）